

資 料 3

～新たな目標の達成に向けた取組について～

前回協議会の開催結果概要	・ ・ ・ P 2
各団体の取組内容一覧	・ ・ ・ P 4
《兵庫県》	・ ・ ・ P 1 4
《岡山県》	・ ・ ・ P 1 7
《広島県》	・ ・ ・ P 1 8
《徳島県》	・ ・ ・ P 2 0
《香川県》	・ ・ ・ P 2 2
《愛媛県》	・ ・ ・ P 2 7
《高知県》	・ ・ ・ P 3 0
《本四高速》	・ ・ ・ P 3 5
《NEXCO西日本》	・ ・ ・ P 4 0
《四国地整》	・ ・ ・ P 4 3

令和3年度 第1回 環瀬戸内海地域交流促進協議会 開催結果（概要版）

1. 日 時 : 令和3年10月8日(金)10:00～11:30

2. 会 場 : WEB会議

3. 出席者: 別紙

4. 議事内容

- 設置要綱の改定について
- 前目標の総括
- 次期目標設定について
- 今後の取組方針の改定について
- その他

5. 結果

○設置要綱の改定について承認。

○新たな目標は具体の取り組み検討に必要不可欠なため、次期目標を本協議会で定め、次回協議会までに各団体が取り組みを検討する。

合意目標は以下のとおり。

【短期目標】

コロナからの「観光需要の復興」を目指し令和4年度までに令和元年度の交流状況(R1:6,110万人)以上に復興させる。

【中期目標】

現行料金水準期限の5年後で、かつ瀬戸中央道開通40周年、神戸淡路鳴門道全通30周年が重なる令和10年度を目標年次とし、交流人口H25比1,000万人増を目指し『再チャレンジ』また、目標に相当する本四高速の日平均交通量61,000台/日を併せ目標とする。

○今後の取組方針の改定について承認。

○その他の今後のスケジュールについて、下記で了承。

- ・前目標の取組結果や分析を踏まえ、新たに設定した目標に向けた取組を各団体が検討。
- ・検討結果を令和4年2月に開催される第2回協議会で説明。

6. 主な意見

- ・ コロナ影響による出張需要の減少を考慮した検討が必要。
- ・ 「四国観光ビジョン」等と連動した取組とすべき。
- ・ カーボンニュートラルなど新しい取組も必要。
- ・ 観光ブランド「瀬戸内」を活かすための中四連携が必要。
- ・ 安定的な人流確保のため全国共通料金制度の継続は極めて重要。
- ・ 旅行再開時の観光客争奪戦で環瀬戸地域が選ばれるためには魅力の発信が大事。
- ・ 地域や交通機関が一体となった取組が必要。
- ・ コロナ影響で生じた観光ニーズの変化を踏まえた取組が必要。
- ・ 現在の本四料金の適用は令和5年まで。本四料金が戻るかもしれないことはあまり知られていない。一般に向けた説明が必要。
- ・ 観光が一つの軸になる。観光に関し四国は多くのポテンシャルを持ち、中国地方との連携で観光需要は2～3倍にもなる。先々を見据え新しい施策をタイムリーに導入することが大切。

環瀬戸内海地域の交流促進に向けた本協議会の取組



情報発信

- 観光地名称を表示した標識
⇒直轄国道以外に拡大
- 案内の多言語化
⇒英語表記の適正化
- 高速道路ナンバリング等
⇒印刷物への記載促進
- 自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報
- 情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ
- 四国八十八景のプロモーション
- 本四高速の新たな料金の広報
- SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信



観光連携

- 環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興
⇒サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
⇒サッカー公式試合での交流促進
- 瀬戸内海の「海」の魅力の発信
⇒本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組みを構築)
⇒瀬戸内海国立公園ウォーク
- 観光地における渋滞緩和
⇒観光地における渋滞対策の検討・対策実施
- 利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定
⇒観光地までのルート、所要時間を案内
- 2次交通の改善、M a a S
- 周遊を支援する事業の実施
⇒県独自の取組み



産業連携

- 物流機能の強化
⇒高規格ネットワークの拡充
⇒SA・PAの大型駐車マスの拡充
- 産業基盤の整備
⇒工業団地等の整備
⇒地域活性化IC、スマートICの整備
⇒県による誘致補助制度の創設等
- ワークेशन、サテライトオフィス等の取組



生活、文化等

- 環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化
⇒歴史的遺産のネットワーク構築とPR
⇒文化芸術ネットワークの推進
- 環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承
⇒食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加



その他

- 「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組
⇒観光客の実態調査
⇒トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化
⇒道の駅での相互連携
- 「道の駅」施設管理における見える化
⇒情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組
- 道路ネットワーク整備



観光地名称を表示した標識

兵庫県	平成30年度に対象箇所を選定し、淡路島内は既に完了（対策箇所1箇所）。 完 県道志筑郡家線の交差点を観光地名「伊弉諾神宮」に変更。
広島県	国道183号の交差点において、H29年に国営公園の名称を表示した標識に改善。 完
徳島県	地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	直轄14か所、直轄以外3か所で実施。今後直轄以外の路線においても改善が必要な箇所について整備を推進。

案内の多言語化

兵庫県	平成27～30年度に県管理道路全ての案内標識の英語表記の改善が完了（淡路島内シール貼対応:349枚） 完
岡山県	令和元年度に県内景勝地等の英語表記を決定。案内標識の更新・新設のタイミングに合わせて順次整備。
広島県	宮島周辺道路等の主要な観光地において英語表記を適正化。 完
徳島県	地元自治体と連携し、必要に応じて整備。
四国地整	令和元年度に英語表記対訳リストの素案を作成済。現在、地理院地図に対する英語表記との突合作業を実施中。

高速道路ナンバリング等

兵庫県	淡路島内の県管理道路について、2019年度までにすべて完了（対策箇所34箇所）。 完
広島県	計画箇所においてR2年までに設置完了。 完
徳島県	『徳島県の道路』パンフの中で地図上の高速道路にナンバリングを記載。
四国地整	高規格道路、直轄国道等の対象路線においては2020年末までに完了。 完

情報発信（2／2）

令和4年2月9日時点

情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ

兵庫県	YouTubeによる淡路島観光動画の放映。 NEW	
-----	-------------------------------------	---

四国八十八景のプロモーション



四国地整	「四国八十八景」と「道の駅」が相互連携し電子スタンプラリー。 NEW	
------	--	---

SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信

兵庫県	兵庫県HP及び県観光協会HPのトップ画面において、「かんせと」のバナーを掲載。
香川県	デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信など、効果的な情報発信により誘客促進をはかる。
愛媛県	デジタルマーケティングを活用したサイクリスト誘致促進

環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

NEW

兵庫県	淡路島内のサイクリングコース「 アワイチ 」での走行環境整備等。
広島県	・サイクリング環境の整備（矢羽根型路面標示・ルート案内板・急勾配注意看板等の設置、道路空間再分配など） ・サイクリングに関する取組の推進（サイクリングマップ作成、サイクルイベント等出展、自転車マナーアップ啓発事業、人気漫画とコラボしたサイクリングウェア等作成、しまなみ海道自転車道無料化など）。
愛媛県・広島県	サッカー公式試合での交流促進（ブース出展して観光パンフレット等を配布）。
徳島県	鳴門市による「海峡またぎ」事業を開始し、トラック・マイクロバス・路線バスを活用した自転車輸送で、鳴門海峡を渡りサイクリストのニーズに対応。
広島県・愛媛県	サイクリングしまなみ2022の開催、「E-BIKEアクションしまなみ」の展開、受け入れ環境の整備（ブルーライン、案内看板、路肩拡幅、矢羽根の設置）、しまなみ海道の自転車通行料金の無料化
四国4県	サイクリングアイランド四国の実現に向けた取り組み（四国一周路面案内ピクトの整備、四国一周モニュメントの設置、完走者によるしまなみ訪問の仕掛け、四国一周ファンミーティング）
愛媛県	サイクリング・マナーアップに向けた取り組み（キャッチフレーズ「あいさつ響く 愛顔のShimanami」の制定、ボイスメッセージの設置、コロナ禍におけるサイクリングマナーを策定）
本四高速・愛媛県	瀬戸内地域の サイクリングルートのネットワーク化 の推進。

NEW

観光連携（2 / 3）

令和4年2月9日時点

瀬戸内海の「海」の魅力の発信

兵庫県・徳島県	明石海峡大橋海上ウォーク、大鳴門橋うずしおウォークの開催。	NEW
香川県	・環瀬戸協議会HP等掲載のインフラマップの情報更新や旅行業者に対する情報提供等により、『インフラツーリズム』の認知度向上と、民間主体のインフラツーリズムの構築に向けた取組みを実施。 ・「屋島ウォーク」や「里海ガイドと行く『海辺のおでかけマップ』ウォーキングツアー」を実施。	
愛媛県	しまなみ海道の更なる魅力向上（来島海峡大橋のキャッチコピー「クラウン・ブリッジ」を制定、アート・モニュメントの設置、サイクリングを核とする「体験型コンテンツ」の造成等の支援、ローカル 5 Gを活用したオリジナルムービー）	NEW
本四高速	・長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値が高いツアーを実施。 ・塩飽諸島を初めとした瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化。	

観光地における渋滞緩和

兵庫県	湊交差点にて、R2年度までに交差点改良事業を実施。	
広島県	宮島口周辺において、観光シーズンの駐車場容量の確保や混雑回避案内などの対策実施。	

利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定

岡山県	観光情報サイト「岡山観光WEB」によりモデルドライブルートを紹介。	
広島県	・R2年に広島湾域の水上・海上交通の利活用に関するMAP作成。完 ・R1年に宇品旅客ターミナル観光案内所リニューアル。完 （観光案内・地図・パンフレット提供、ディスプレイによる瀬戸内の観光情報の動画放映、無料公衆無線LANサービス） ・宇品外貿において大型クルーズ客船に対応する岸壁延伸及びクルーズターミナル整備。 ・観光型高速クルーザー「シースピカ」による「瀬戸内しまたびライン」の創設。 ・R2年に宮島口旅客ターミナルの供用開始、ターミナル内に観光案内所を開設。完	

観光連携（3 / 3）

令和4年2月9日時点

2次交通の改善、M a a S

兵庫県

- ・神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ高速バス路線。（淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行）をR3.12.1に新設。 **完**
- ・高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売。

NEW

周遊を支援する事業の実施

兵庫県

時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設。

NEW

香川県

- ・県民及び隣県在住者が行う県内旅行を対象に、宿泊代金の割引と観光施設等で使えるクーポン配布を実施。
- ・宿泊施設が行う感染症対策や、ワーケーションの受入環境等、新たな事業展開に要する経費を支援。
- ・OTAと連携し、新たな観光スタイルに対応した体験コンテンツを造成、販売することで誘客を図る。

NEW

愛媛県

- ・えひめ南予きずな博の開催。
- ・しまなみ海道自転車道を利用する修学旅行を対象にレンタサイクル費用等の一部を助成。

高知県

高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」。

NEW

NEXCO

- ・環瀬戸内海地域の観光振興に向けた取り組み（西日本観光周遊ドライブパス）。
- ・高速道路を活用した地域貢献の取組み（お国じまんカードラリー、GoToIYOキャンペーンなど）。

NEW

産業連携

令和4年2月9日時点

物流機能の強化

徳島県	埋立地にできる新たな産業拠点と高規格道路を結ぶ地域活性化ICを整備し、物流機能の強化を図る。
NEXCO	高速道路における休憩施設駐車マスの混雑対策（駐車マスの拡充）。

産業基盤の整備

兵庫県	・淡路島中央SICの整備（平成30年2月開通）。 完 ・洲本市の企業用地（誘致推進）。 NEW
岡山県	産業団地開発支援事業（市町村が行う産業団地開発事業の経費に対する無利子貸付）の創設。 NEW
徳島県	徳島津田ICのフルインターチェンジ化により、産業拠点と県南地域へのアクセス性向上を図る。 NEW
香川県	香川県企業誘致助成制度による助成やワンストップサービスによる各種行政手続の支援により企業誘致を促進。
愛媛県	大規模工場等の誘致に向けた産業用地確保の取組み。
高知県	産業基盤の整備。 NEW
本四高速	坂出北ICのフルインター化。

ワーケーション、サテライトオフィス等の取組

兵庫県	パソナグループによるワーケーション拠点施設の開設（令和3年4月）。 完 （神戸淡路鳴門自動車道の淡路IC付近）
香川県	サテライトオフィス開設や事業所として取得した空き家の改修、拠点整備などの経費の一部を支援。 NEW

生活、文化等

令和4年2月9日時点

環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

高知県	歴史的遺産のネットワーク構築とPR。
本四高速	瀬戸内地域に存する 美術館・博物館81施設のネットワークのつながりを深化、発展 させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献。

環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

兵庫県	以下のような取組を実施 完 【誘客キャンペーン】 ・心斎橋PARCO（令和3年3月9～16日）、銀座蔦屋書店（令和3年3月13～27日）において誘客キャンペーンを実施し、淡路の魅力を広くPRを実施。 ・楽天トラベルを活用したWEBプロモーションを実施。 【インバウンド対応】 ・新型コロナウイルスの影響によりインバウンド誘客が見込めないことから、淡路島の豊かな自然の風景や文化の映像を8K映像に収めたプロモーション動画を制作し、国内外に淡路島の魅力を発信。 【御食国淡路島の推進】 ・海外へ販路のある国内在住バイヤーを淡路へ招聘するとともに、台湾の食品バイヤーとオンライン商談会を実施し、淡路島と海外の販路拡大を図った。 【淡路花博花みどりフェア】の開催】 ・「淡路花博2015花みどりフェア」において、「海のフードコート」「兵庫県物産フェア」等を開催し、兵庫県の食をPR ※淡路花博2020花みどりフェア（2021年春）においても、「島スイーツガーデン（4/10,11）」を実施。
徳島県	高速道路SAやイベント会場において、環瀬戸内海の食文化パネル展等を実施。
本四高速	地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し 地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点 として、SA・PAを最大限活用。

NEW

その他（１／２）

令和4年2月9日時点

「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

兵庫県	以下のような取組を実施 【観光客の実態調査】 調査実績なし。 ※「道の駅うずしお」→全国道の駅最強ランキング（2021.8）で全国1位 ※「道の駅あわじ」→じゃらん道の駅満足度ランキング2018で全国1位 【トイレの洋式化】 ・淡路島内の道の駅（「あわじ」「うずしお」「東浦ターミナルパーク」「福良」）において、いずれも洋式トイレは設置済み（洋式化率は4駅全体で62%）。 ・道の駅あわじにてトイレ改修済み（R元年度）。 【フリーWiFi設置】 ・淡路島内の道の駅「あわじ」「うずしお」で設置済み。 【スタンプラリーの実施】 ・R3年度より道の駅カードを販売（県内35駅のうち30駅が参加）。 →30駅すべて集めれば、府県コンプリートカードがもらえる。 ※上記はいずれも近畿道の駅連絡会、兵庫県道の駅連絡会による。
岡山県	Wi-Fiは、市町村と連携し、県内の全駅で整備完了。県所管の和式トイレ（8駅）は、洋式化対応完了。 完
広島県	道の駅舞羅IC千代田等において、トイレの洋式化を実施。
徳島県	トイレの洋式化、フリーWi-Fiの整備。 完
香川県	道路管理者が管理する7駅におけるトイレの洋式化に全て対応（R2年度完了）。 完
四国地整	【トイレの洋式化】 ・直轄一体型「道の駅」は令和4年度中に整備完了を目指す。 【フリーWiFiの設置、キャッシュレス決済環境の整備、免税対応・免税店の拡大、多言語対応】 ・各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、整備を促進。 【道の駅での相互連携】 ・「四国八十八景」とコラボした「電子スタンプラリー」を実施。





その他（２／２）

令和4年2月9日時点

「道の駅」施設管理における見える化

広島県	サービス水準の維持・向上のため、設置者と運営者と連携して毎年度3～4駅ずつ点検を実施。
四国地整	快適な「道の駅」を目指すために、定期的な点検やアンケート等を実施し、改善を図る。

道路ネットワーク整備

徳島県	命の道である高規格道路のミッシングリンク解消に向けた要望活動を引き続き行うとともに、地方創生の礎となる県管理道路の整備を行い、移動しやすい道路環境を創出する。
四国地整	令和3年4月に「 防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム 」を策定し計画的に推進。

NEW

1. 地域資源を活かした観光振興

ウェルネストラベルの促進

新型コロナウイルス感染予防など健康に対する意識が高まる中、医学的な根拠に基づく健康の維持と観光をつなげる「**ウェルネストラベル**」など、新たな観光手法による誘客を促進

[具体的な取組]

- ビーチヨガ等の実証による旅行プログラムの策定



【ビーチでの体操指導】

首都圏等への観光誘客キャンペーンの展開

従来からのコアターゲットである関西圏へのP Rに加え、**宿泊が期待できる首都圏・中京圏等への積極的なプロモーションを展開**することで観光商圈を広げ、淡路島への誘客を促進

[具体的な取組]

- YouTube やWeb バナー等での観光動画の放映



【淡路島の主な観光地】

2. 地域公共交通の充実

淡路島を訪れる**観光客が利用しやすい公共交通の実現**

[具体的な取組]

- 時刻表や観光情報などを掲載した淡路島公共交通ポータルサイトの開設
- 高速バス往復乗車券と島内路線バスの乗り放題切符をセットにした企画乗車券の販売

3. 「食の島」あわじの実現

食を中心とした地域づくりの推進

2025 年万博開催に照準を合わせ、**淡路島でしか体験できない食の楽しさを提供**し、来島者の五感と知的好奇心を満たす「食の島あわじ」の実現

[具体的な取組]

- 淡路の食のストーリーに基づくプロモーション
- 新あわじレシピの開発

食が堪能できる環境づくりの推進

淡路島の豊かな自然の恵みを活かした「食の島あわじ」の実現を目指し、**食が堪能できる環境づくりを推進**

[具体的な取組]

- 淡路島産食材こだわり宣言店の募集、P R



【こだわり宣言店登録マーク】

参考：R6本四料金値上げに対する淡路島の観光面での影響

淡路島の観光客は、**H25⇒H26にかけて30%増加(1270万人に急増)**

→ **本四料金が淡路島の観光に与える影響は大きい**

→ **淡路島の観光振興において、R6以降も本四料金の現状維持が必要**

<兵庫県>誘致効果【洲本市の企業用地（誘致推進）】

1. 誘致施策

【兵庫県：H14.4月から】

- ①補助金
→設備投資、雇用
- ②税軽減
→不動産取得税、法人事業税

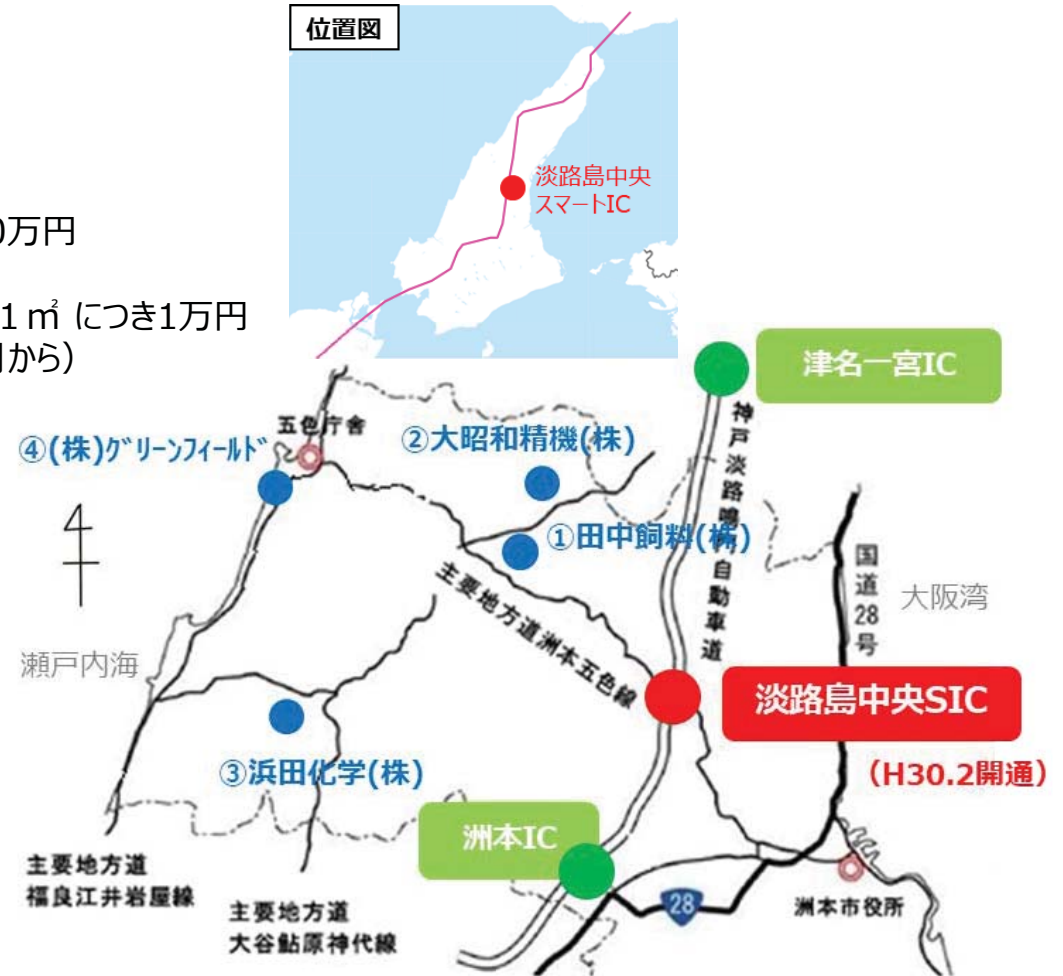
【洲本市：H23.4月から】

- ①企業誘致奨励金
→固定資産税相当額を5年間
- ②雇用促進奨励金
→新規雇用（市民）1人につき30万円
- ③事業所施設設置奨励金
→床面積（1,000㎡を超える分）1㎡につき1万円
- ④高速道路渡橋料金補助（R3.1月から）
→1の年度につき60万円

2. 誘致効果

淡路島中央SIC整備決定(H25.6月)後に立地した企業

企業名	所在地	業務内容
①田中飼料(株)(本社 京都市) (R3.1開業)	洲本市五色町 鮎原南谷	飼料化リサイクル
②大昭和精機(株)(本社 東大阪市) (H28.10開業)	洲本市五色町 鮎原中邑	工具保持具、精密測定機器の開発、製造
③浜田化学(株)(本社 尼崎市) (R1.12開業)	洲本市五色町 下堺	食品加工、バイオディーゼル燃料製造
④(株)グリーンフィールド(本社 大阪市) (R1.12一部開業)	洲本市五色町 都志万歳	会員制リゾートホテル



■ 淡路島中央SIC利用によるストック効果

洲本市では、生産用機械器具製造工場が多く立地しており、製造品の多くは神戸淡路鳴門自動車道を経て国内へ出荷されている。

平成26年に新料金となり、平成25年に淡路島中央SICの整備が決まった結果、洲本市西部では、工具保持具の開発・製造で国内50%を超えるシェアを占める大昭和精機(株)などの企業の進出が進んでおり、SIC整備によるストック効果が現れている。

■ 本四間の物流・交流について

淡路島中央SICの整備により

物流面：洲本市の企業誘致の取組みや淡路島中央SICの整備をきっかけとして、製造拠点が建設され、本四高速利用による物流の増加

観光面：会員制リゾートホテルの建設や市内全域のアクセス性向上などにより、本四高速利用による観光人口の増加

参考：R6本四料金値上げに対する企業の声※

現行料金で収支計算しており、値上げされると経営に痛手。
何とか現行料金を維持してもらいたい！

※洲本市への聞き取り内容を踏まえ作成

<兵庫県>淡路島におけるパソナグループの事業展開・行政支援

1. 東京から淡路島への本社機能移転

産業面

パソナグループ本社機能移転

2024年5月までに
管理部門社員1200人が淡路島内に異動

本社機能移転や雇用創出を行政支援

[協議会名]

淡路島パワートH.Q. (ハット・クォーター) 協議会

[行政メンバー]

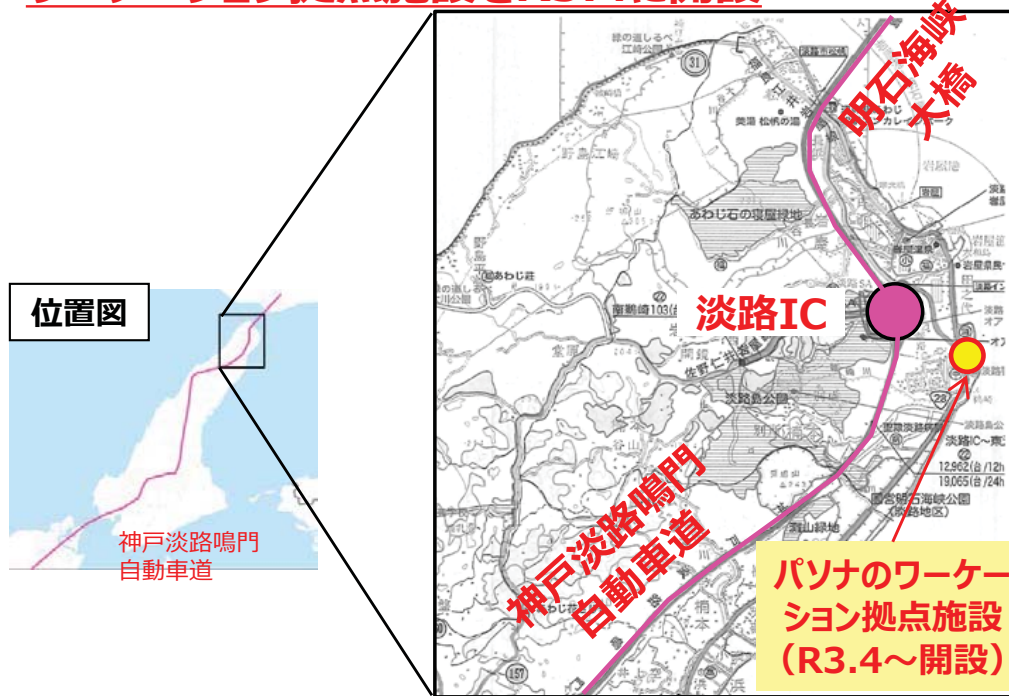
兵庫県淡路県民局

淡路市、洲本市、南あわじ市

2. ワーケーション事業の拠点施設を開設

ワーケーション拠点施設をR3.4に開設

位置図



3. 淡路島北部西海岸への観光誘客

観光面

<施設立地状況>

パソナグループ運営の観光施設等が数多く立地

<アクセス性>

従来(～R3.11)

自家用車以外でのアクセス性が悪い

公共交通機関でのアクセスは、コミュニティバスのみであり、
自家用車以外の観光客の移動手段が脆弱

現在(R3.12～)

神戸⇄淡路島にバス新路線

神戸三宮バスターミナルと高速舞子の発着で、淡路島北部西海岸を結ぶ**高速バス路線(淡路IC～淡路島北部西海岸は一般道を通行)**をR3.12.1に新設

※神姫バス(株)と本四海峡バスの共同運行

※1日あたり、平日11往復、土日祝日10往復で運行

パソナグループが運営する観光施設周辺にバス停留所を設置

⇒観光客等の利便性向上に寄与

位置図



観光振興関係

岡山後樂園の魅力づくり

特別名勝の文化財庭園であり県内随一の観光地である、日本三名園の一つ「岡山後樂園」の本質的な価値をさらに高めるとともに、魅力的なイベントや体験コンテンツの実施により、国内外からの誘客促進、リピーター客の定着に取り組んでいる。

二色が岡復元イメージ

【特別名勝保存整備事業】

- ・園内「二色が岡」の景観復元整備(その名前の由来となった桜と楓の二色を楽しむことができる築庭当時の景観復元に向けた樹種変換等)

【さらなる魅力づくり事業】

- ・「和の感動体験」事業(能楽(狂言)の定期公演)
- ・夜間特別開園「幻想庭園」(ライトアップ)



能舞台



企業誘致関係

産業団地開発支援事業

公的産業団地が残り少なくなっているため、一定の要件を満たす市町村の産業団地開発事業に対し、資金貸付を通じた支援を行うことにより、企業が必要とする産業用地の確保・提供に努めている。

限度額	分譲用地整備に係る経費の1/2
利率	無利子
償還方法	年賦元金均等償還(売却に合わせて繰上償還)
償還期間	据置期間10年、償還期間10年

<広島県> 新たな目標に向けた取組事例【観光面：サイクリング】

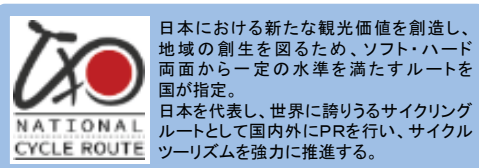
○愛媛県と連携してサイクリング走行環境の整備や自転車道無料化の取組を進めてきたことで、レンタサイクルの貸出台数は増加傾向となり、広島県側ではR1年に過去最高となるなど交流人口拡大や観光振興等に大きく寄与してきた。

○引き続き、愛媛県と連携を図りながら取組を進めていきたい。

◆取組事例①(ナショナルサイクルートの指定)

平成11年に全橋供用され、しまなみ海道サイクリングロードが全線開通して以来、走行環境の整備や情報発信を推進。

しまなみの多島美などの魅力的な景観に加え、これまでに整備した走行・受入環境や体制等が評価され、「ナショナルサイクルート」第1次指定において選定された(R1.11.7)。



日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、ソフト・ハード両面から一定の水準を満たすルート为国が指定。
日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進する。



<取組内容>

■走行環境の整備

- ・ブルーライン 43km (全線)
- ・矢羽根型路面表示 22.2km (広島県側)
- ・ルート案内板 22基 (広島県側)
- ・道路空間の再配分 2.0km (広島県側)
- ・急勾配注意看板 6箇所 (広島県側)

■情報発信

- ・ホームページの作成
- ・サイクリングマップの作成
- ・案内の多言語化 など

◆取組事例②(国際サイクリング大会・サイクリングしまなみの開催)

2014年に第1回を開催して以降、4年に1度大規模大会(7,000人規模)を開催し、中間年に中規模大会(3,500人規模)を開催している。

○2020年大会は新型コロナの影響により中止。

○次は2022年10月30日(日)に大規模大会を開催予定。



◆取組事例③(自転車通行料金の無料化等)

平成26年より自転車の通行料を無料化している(本四・広島県・愛媛県で料金を負担)。

広島県・愛媛県・尾道市・今治市で構成する協議会において、企業から募った協賛金や支援型自販機の売り上げの一部から頂く寄付金などを、自転車の通行料金無料化の財源として充当するとともに、サイクリスト利便性向上を目的とした環境整備やマナー講座等を実施。

協賛ポスター(R4年版・制作中)



■協賛企業からのスポンサー料や販売等による財源確保



オリジナルデザインサイクルウェア



サイクリスト支援型自動販売機



反射リストバンド販売

◆取組事例④(サイクリングに関する情報発信等)

■サイクリングマップ作成

- ・サイクリングルート
- ・立ち寄りスポット
- ・レンタサイクル施設
- ・休憩施設等を紹介



<広島県> 新たな目標に向けた取組事例【観光面：サイクリング】

◆取組事例⑤(安全で快適なサイクリング環境の整備)

■ブルーラインや案内看板等の設置

自転車の走行位置の明確化と逆走を防止するとともに、自動車運転者に対して注意を促す。



ブルーライン



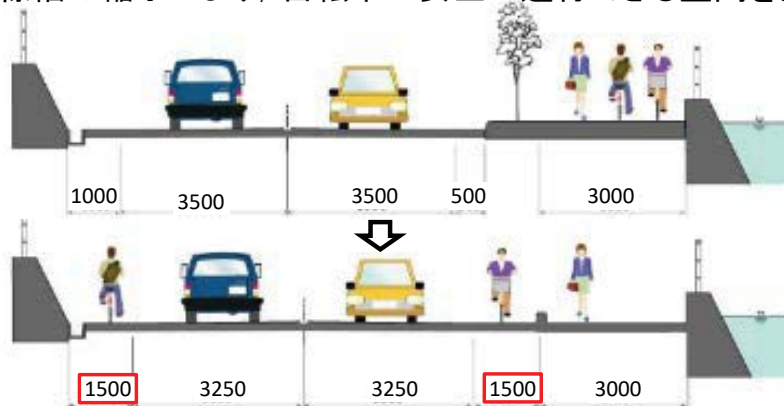
矢羽根型路面表示



ルート案内板

■道路空間の再配分

自転車以外の通行に必要な幅員は確保しながら、植樹帯の撤去や車線幅の縮小により、自転車が安全に通行できる空間を確保。



■急勾配注意喚起看板

上りでは、体力や体調にあわせたサイクリングを促し、下りではスピードの抑制を促す。

▼上り勾配

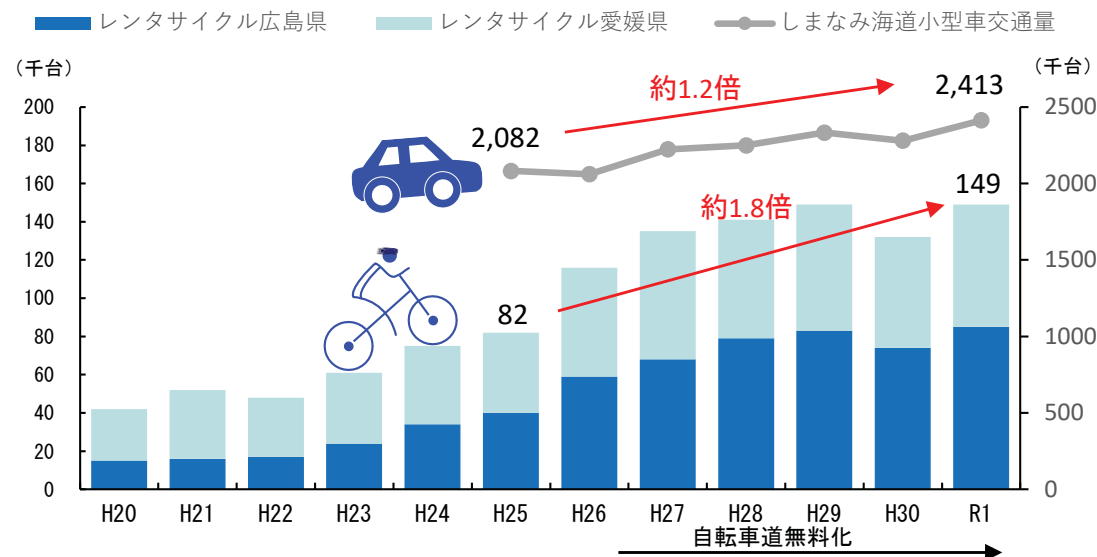


▼下り勾配



◆取組効果(レンタサイクル台数と小型車交通量の増加)

これらの取組により、レンタサイクルの貸出台数は年々増加しており、また、しまなみ海道の小型車交通量も増加傾向となっていることから、交流人口拡大や観光振興等に大きく寄与していると考えられる。



◆その他サイクリング観光振興に係る取組

■観光プロダクト開発促進補助金を活用したプロダクト開発

新しい生活様式に対応した新たな観光プロダクトの開発を行う者に対し、その取組に要する費用の一部を補助

【今年度のプロダクト例】

・グラベルの聖地®(尾道市因島)

【プロダクトの概要】

- ・しまなみ海道初の未舗装路のサイクリングコース「グラベルの聖地®」を整備
- ・2021年12月26日に大山神社(因島)で開所式が開催
- ・今後、大山神社でE-BIKEも含めたレンタサイクルも実施される

実施主体：因島サイクルツーリズム振興協議会

■募集要項

- ① 募集期間：2021年6月30日(水)～11月30日(火)
- ② 補助対象者：国内・海外の観光客の誘客促進に積極的に取り組む事業者等
- ③ 補助額等：補助率2/3
上限 単独事業者：400万円
異業種連携事業者：1,000万円
- ④ 実施：(一社)広島県観光連盟



■ハード整備

徳島小松島港 津田地区活性化整備事業

徳島南部自動車道及び徳島津田ICの整備により、「陸・海・空の結節点」となる津田地区において、遊休化していた水面貯木場を埋め立て、新たな企業用地(約9.8ha)を造成

■施策・制度

①補助金

②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円

①固定資産税・都市計画税の免除(3年間)

②雇用奨励金(新規地元雇用)一人40万円



南海トラフ巨大地震を迎え撃つ命の道となる徳島南部自動車道の徳島津田
I Cに隣接し、周辺地盤より約2m高く造成した安全安心な企業用地として、

- ・「徳島沖洲・徳島津田間」の開通により機運が高まり、
8区画において6社と契約
- ・年度内に「徳島JCT・徳島沖洲間」が開通し、
全国の高速道路ネットワークに直結した後、
「令和4年5月」に「企業用地の引渡し」を開始予定であり、
産業・流通の拠点として大きな経済効果や新たな雇用の創出が期待できる。

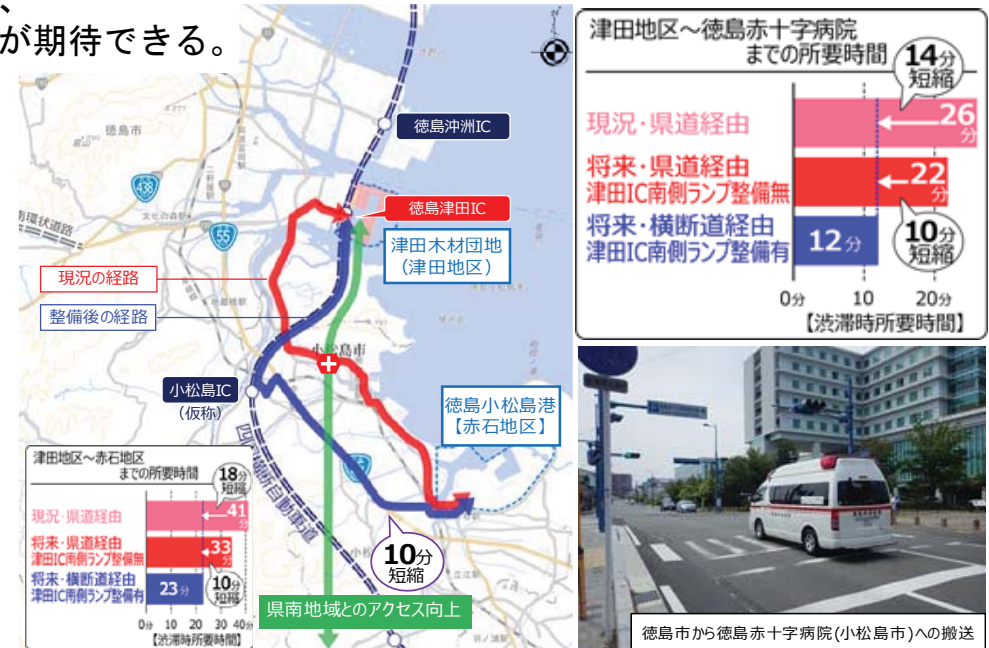
平成28年に策定した「徳島小松島港津田地区活性化計画」を実現する第一歩として、津田地区を企業が集積する「産業拠点」へと再生するとともに、今後、新たな賑わいを生む交流拠点が立地する「複合型先進拠点」へとさらなる発展を遂げることができるよう段階的な事業展開を図ることにより、交流人口のより一層の拡大に寄与する。

○県南地域や京阪神へのアクセス性向上による

- ・ 県外企業の新たな立地、企業間取引拡大・交流促進
- ・ 県内企業の集積、物流機能の強化・効率化

○安全安心な企業用地の確保による、地域防災力の向上

○救急搬送の定時制確保による、救命率の向上



<徳島県> 観光需要復興を目指す取組 【食文化の発信・伝承】

徳島県鳴門市で開催されたJリーグ公式戦「徳島ヴォルティス vs サンフレッチェ広島」の
試合会場で「パネル展」を実施！
入場者数：8,170名

今季平均の約1.5倍



道路のストック効果をPR



各県の食文化を紹介



今季最大の入場者数！

ビジター席も完売！

農林水産部局と連携



阿波ふうど号（キッチンカー）出動



「フィッシュカツお好み焼き」を
無料試食配布

広島のお好み焼きと
徳島のフィッシュカツ
を
コラボ！



橋・食を動画で紹介

周遊クーポンを配布



観光部局と連携

県内で
使える
クーポンを
県外客へ
配布

各県の観光・グルメパンレットを配布



環瀬戸協議会の
構成各県が
パネルの作成・
パンフの提供に協力！

イベントをきっかけに、
観光需要の復興へ！

<香川県> 新たな目標にむけた観光連携の取組事例

インフラツーリズム

【取組概要】

- 暮らしや安全を支えるインフラをはじめ、土木・近代化遺産、道の駅、日本風景街道等に合わせて、四国八十八箇所霊場に代表される観光施設などを巡ることにより、環瀬戸内海地域の新たな魅力を知ってもらい、一層の交流人口の拡大につなげる。
- モデルコースの設定、現地マップの作成、協議会HPや関係機関と連携した情報発信を行う。
- H28から香川県で試行、環瀬戸内海地域へ展開。今後は本四3橋を中心とし、民間主導のインフラツーリズムの構築を目指す。

【インフラツーリズムのイメージ】



- モデルコースの設定
- 現地マップ作成
- 協議会HP、関係機関と連携した情報発信



【インフラツーリズムに関連する取組】

●民間主導のインフラツーリズム構築(H30～)

例)旅行会社の企画するツアーに、インフラ施設を組み込む



※イメージ例：瀬戸大橋スカイツアー

【これまでの取組み】

○環瀬戸インフラマップの作成

環瀬戸協議会HP「SETOUCHI JOURNAL」



- ・環瀬戸内海地域の各県において、ピックアップしたインフラ施設等（道路施設、土木遺産、寺社、SA・PA等）を、一つのマップ上にまとめて公開（R元年6月）
- ・県内市町等HPへの協議会HPのバナー掲載を依頼

【効果】

R3.9月末までのインフラマップ記事へのアクセス数：8,056件
(Topページ:155,598件)

⇒今後更なる情報発信を図るため、Topページからインフラマップ記事へのアクセス数の向上策等について検討。

民間主体のインフラツーリズムの取組みの構築

【取組概要】

- 旅行業者の企画するツアーに、インフラ施設を素材として組んでもらえるよう取組む。
- 観光資源となりうるインフラ施設見学の情報を行政から旅行業者へ提供し、業者が主体となって観光ツアーの企画・催行ができるよう取組む。

【これまでの取組み】

- 全国の旅行業者にインフラ施設情報をツアー素材として紹介。
- 左記の収集した施設情報を、協議会HP内のインフラマップに追記（R2年1月）



〔四国内インフラ施設紹介記事（四国ツーリズム創造機構「四国観光素材集2020」）〕 〔インフラマップに掲載した施設情報（例：香川用水記念公園）〕

- 昨年度、（一社）全国旅行業協会や旅行業者に、四国観光素材集やインフラマップについて情報提供。

【今年度の取組み】

- 旅行業協会に対するヒアリングの実施：ツアー企画しやすい観光素材等について意見交換を実施。
- 関係機関HPにおける協議会HPのバナー掲載の協力依頼
 - R3年9月末時点：（県内市町）8市町及び4市町観光協会、（県外市町）2市1村及び12市町観光協会等において掲載済み。
- インフラマップの掲載情報の更新に向けた取組み
 - ガイド等の情報更新を踏まえた、インフラ施設情報の時点修正を関係機関に依頼。

【次年度以降の取組み（予定）】

- 引き続き協議会HPのバナーについて、関係機関等HPでの掲載協力を依頼
- インフラマップの掲載情報の更新
- 旅行業者に対する説明会、ヒアリング等の開催：インフラマップ・観光素材集等の情報周知、機会を捉えた説明会の開催等
- 旅行業者の企画・催行状況のモニタリング：環瀬戸インフラマップ、四国観光素材集等に対する旅行業者の反応、インフラツアー催行状況等

<香川県> 新たな目標にむけた観光連携・情報発信の取組事例

■観光客の滞在・周遊を促進する事業の実施

■SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信

【新うどん県泊まっかがわ割】

(キャンペーン期間 ～R4年3月10日)

○香川県在住者及び隣県在住者を対象に、県内宿泊の宿泊料金を半額(最大5,000円)割引助成及びクーポン券を最大2,000円分配布。



※コロナの感染状況に応じて、適宜、新規予約の受付停止などを実施

【宿泊施設受入環境整備支援】

(事業対象期間 R2年5月14日～R4年1月31日)

○宿泊事業者が行う、感染拡大予防ガイドラインに対応するための備品等の購入や、受入環境の整備、コンテンツ開発など 新たな需要創出のための経費の一部を補助。

■瀬戸内海の「海」の魅力の発信

瀬戸内海国立公園ウォーク 【屋島ウォーク】



○日本最初の国立公園となった屋島で瀬戸内海の多島美観を歩いて楽しみ屋島の魅力を再発見するイベント。

かがわ里海大学 【「海辺のおでかけマップ」 ウォーキングツアー】



○「海辺のおでかけマップ」掲載の海岸周辺で生き物観察やクリーンアップなどを通して海の環境について学べるツアー。

新しい観光スタイルの推進

○新しい観光スタイルを推進するため、OTA(オンライントラベルエージェント)と連携し、地域資源を活用した体験コンテンツを造成し、販売を強化。

【ご当地体験trip(コンテンツ事業)】

○アウトドアや食、アートなど、様々な体験ができるコンテンツを販売。

○マイクロツーリズムや、アウトドア・アクティビティなど、「新しいニーズ」に対応する体験コンテンツを造成し、誘客をはかる。



<コンテンツ例>

さぬきのり染め MYバッグ作り体験

香川の伝統工芸「讃岐のり染」という手法で作るMYバッグ作り体験。



【デジタルマーケティング観光誘客推進事業】

○デジタルマーケティングを活用したSNS広告配信などを実施し、閲覧者の興味や関心、ニーズを踏まえた効果的な情報発信により、誘客促進をはかる。



瀬戸内国際芸術祭 2022

瀬戸内国際芸術祭は、2010年にスタートした瀬戸内海の美しい島々を舞台とした現代アートの祭典です。3年に1度のトリエンナーレ形式で開催しており、2022年には5回目を迎えます。

4月14日から、直島や豊島、小豆島など瀬戸内の12の島と高松港、宇野港周辺を会場に、春・夏・秋の各会期あわせて105日間の日程で開催します。

瀬戸内国際芸術祭は、「海の復権」と「島の元気」をテーマに掲げ、美しい自然と人間が交錯し交響してきた瀬戸内の島々に活力を取り戻し瀬戸内海が地球上のすべての地域の『希望の海』となることを目指して、開催しています。

【主催】

瀬戸内国際芸術祭実行委員会

【会期】

春会期 4月14日 ~ 5月18日

夏会期 8月 5日 ~ 9月 4日

秋会期 9月29日 ~ 11月 6日

【会場】

直島 / 豊島 / 女木島 / 男木島

小豆島 / 大島 / 犬島

沙弥島「春のみ」 / 本島「秋のみ」

高見島 [秋のみ] / 栗島 [秋のみ]

伊吹島 [秋のみ]

高松港周辺 / 宇野港周辺



瀬戸内国際芸術祭2016の様子

Photo: Shintaro Miyawaki



ジャウメ・プレンサ「男木島の魂」

Photo: Osamu Nakamura



栗林 隆「伊吹の樹」

Photo: Keizo Kioku



木村崇人「カモメの駐車場」

Photo: Osamu Nakamura



■ 産業基盤の整備

【香川県企業誘致助成制度】

○投下固定資産額や新規常用雇用者数などの要件を満たす**工場、試験研究施設、物流拠点施設、情報処理関連施設、地方拠点強化施設**について助成を行い、企業誘致を促進。

【ワンストップサービス窓口】

○企業が香川県に立地する際に、工場用地や優遇制度などの各種情報提供や、立地後の操業上の課題などへの対応について、関係機関と連携を取りながら迅速かつ的確にサポートするための窓口を開設。

誘致事例 ～香川県坂出市番の州臨海工業団地の分譲～

香川県番の州臨海工業団地の残る約17haの未分譲地に、3社（ショーワグローブ(株)、(株)ハローズ、竜王金属(株)）による生産・物流拠点施設の立地が決定。これまでの総分譲面積は約505haで、企業数は大型工場や流通関係企業等あわせて42社。

<誘致効果>

- **投資・雇用面** 立地する3社の投資効果として、土地代に建物・機械設備費等を加えた**総投資額が約200億円**になり、3社による設備増設後も含めた雇用計画では、新たに**約400人の雇用が創出される見込み**。
- **産業インフラ面** これら拠点整備に伴い、工業用水や電気、ガスなどのインフラ面における大きな需要が見込まれ、3社で**年間30億円超の使用量が見込まれる**。
- **本四間の交流** 県外に本社を置くショーワグローブ(株)（兵庫県）と(株)ハローズ（広島県）の生産・物流拠点施設が整備されることにより、**本州・四国間での物流が活発化することが期待される**。



■ サテライトオフィス等の取組

【サテライトオフィス開設等への支援】

○新しい生活様式や働き方の浸透、地方移住への関心の高まりを踏まえ、**県外から県内への企業の誘致及び移住の促進を図る**ため、香川でのサテライトオフィス等の開設を支援。

<支援概要>

- ① **サテライトオフィスを開設する県外事業者に対して、経費を補助**
- ② **事業所として取得した空き家の改修費等に対して、県内市町が補助**
- ③ **サテライトオフィスの拠点を整備する事業者に対して経費を補助**

<愛媛県> しまなみ海道エリアの交流人口拡大に向けた取り組みについて

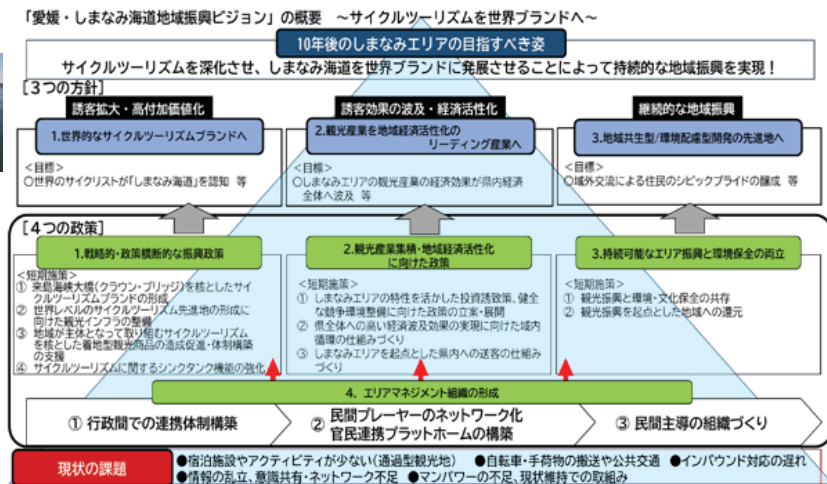
「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の策定



- 策定年月：2021年3月
- 推進期間：2021～2030年度までの10年間
- ビジョンの概要：
しまなみ海道エリアの魅力を更に向上させるため、“目指すべき10年後の姿”を描き、県・市町、DMO、事業者等が、方針や政策を共有・実践するための基本となるもの。

➡「しまなみ海道エリア」がサイクルツーリズムを中心とした世界ブランドとしての認知を獲得し、“地域が人を呼び、人が人を呼び”好循環を生み出すエリアへの発展に向けた取り組みの方針・政策

- ◆3つの方針：「誘客拡大・高付加価値化」、「誘客効果の波及・経済活性化」、「継続的な地域振興」
- ◆4つの政策：「戦略的・政策横断的な振興政策」、「観光産業集積・地域経済活性化に向けた政策」、「持続可能なエリア振興と環境保全の両立」、「エリアマネジメント組織の形成」



「愛媛・しまなみ海道地域振興ビジョン」の実現に向けた新たな取り組み

サイクリングを核とする「体験型コンテンツ」の造成等支援

しまなみ海道エリアのキラーコンテンツである「サイクリング」と組み合わせ楽しむことができる、エリアならではの地域資源や、アクティビティを生かした体験型コンテンツの造成・ブラッシュアップ等を支援

＜2～3年度の造成コンテンツ例＞

- サイクリングと来島海峡大橋桁外作業車体験&登頂ツアー
- 海あり！山あり！BBQあり！無人島満喫ツアー
- そのほか、サンセットシーカヤック、ヨットクルーズなど 32コンテンツ



旅行者の周遊・滞在化に向けた更なる仕掛けとして、販売体制支援にも注力

- ◆旅行会社・インバウンド向けFAMツアー：4回実施
- ◆専門家向けツアー：4回実施
- ◆国内外旅行会社との商談会：複数回随時実施

「サイクリングしまなみ2022」の開催

【大会概要】～基本方針～

- ①名称：瀬戸内しまなみ海道・国際サイクリング大会
「サイクリングしまなみ2022」
- ②開催日：令和4年10月30日(日)
- ③場所：瀬戸内しまなみ海道及びその周辺地域
- ④主催：サイクリングしまなみ2022実行委員会
(広島県・愛媛県など地元自治体・関係団体等で構成)
- ⑤対象：国内外のサイクリング愛好者など
- ⑥定員：7,000人程度の大規模大会(想定)
- ⑦スタイル：サイクリングを楽しむファンライド
- ⑧コース：全8コースに拡充
■スタート 尾道(向島)07:20、今治07:45
■フィニッシュ(制限時間)17:00



- ◆4年振りの国際サイクリング大会となる「サイクリングしまなみ2022」
- ◆高速道路本線を颯爽と駆け抜けるプレミアム感を始め、沿線の多彩な自然・文化、豊富な山海の幸、そして、温かいおもてなしの魅力等
➡世界における“サイクリストの聖地”をしまなみ海道を国内外へ情報発信

<愛媛県> えひめ南予きずな博の開催

- ◆名 称 えひめ南予きずな博
- ◆テ ー マ つながるきずな、ひろがるいやし
- ◆開催期間 令和4年4月24日～12月25日
- ◆主 催 えひめ南予きずな博実行委員会（愛媛県、南予9市町などで構成）
- ◆コンセプト 南予から発信する「えひめシフト!!」



シンボルマーク



- ・9つの矢印は、地域外から復興支援に対する感謝を表す外向きに広がっていくイメージ（＝きずな）と、南予に向かって人々が集まってくることを表す内向きのイメージ（＝えひめシフト）を表現。
- ・マーク中央に形作られる「花」は、内外の人々のつながりでできる「きずな」と、南予での新しい取組みで生まれる「次の時代の可能性」を象徴。

3年度 体制等整備フェーズ

4年度 プロモーションフェーズ

5年度

おもてなし事業【体制づくり】

受入体制の構築による実需創出

広域周遊 宿泊推進 資源活用

つながり事業【仕組みづくり】

地域課題解決を通じた新しい絆づくり

ヒトのつながり モノのつながり 協賛応援

広報プロモーションの強化

R 3実施事業の伴走型支援

R 4延期事業実施（体制構築）

地域の元気応援事業【イベント】

復興応援と支援への感謝

オープニング

シンボル
（西予市）

シンボル
（大洲市）

シンボル
（宇和島市）

クロージング

連携イベント（市町ほか）

R 4延期事業実施（仕組み構築）

R 3実施事業の伴走型支援

（構築した受入体制・仕組みの活用）

事業者の自走

持続可能な「いやしの南予」の確立

1. 現状と目的

愛媛県は、東・中・南予の地域ごとに多様な産業が集積している地域特性を活かしながら、製造業を中心に企業誘致の取組みを進めているが、平坦部が少ないため**大規模用地の不足が顕在化**しており、企業の誘致及び流出防止に向けた**産業用地の確保が喫緊の課題**となっている。

そこで企業ニーズに合致する用地を確保し、**企業の新拠点整備による地域経済の活性化と雇用増加**を図るため、**市町が実施する産業用地開発に向けた調査事業への補助制度**をR2年度に創設し、県・市町が連携した誘致活動に取り組んでいる。

2. 事業内容

■産業用地可能性調査事（R2年度～）

産業用地開発に向けて市町が行う各種調査に対する支援

項 目	対象経費	補助率	補助限度額	R 2 年度活用市町
企業ニーズ等の検証	委託料	1/2	100万円	大洲市 東温市
地権者調査				
地盤調査 等				

■産業用地整備促進事業（R 4 年度～を検討中）

産業用地開発に付随して市町が実施する公共機関施設の整備に対する支援を検討中

【財源】 愛媛県企業立地資金貸付基金（電源立地地域対策交付金を原資に設置）

取組概要

○高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」では、大自然を体感するアクティビティをはじめ、地元の人とふれあいながら楽しむことができる体験をしたり、幕末から明治維新の歴史文化探訪で偉人たちの足跡を辿りながら本物の資料を鑑賞したり、大自然の恵みを存分に受けた食資源に舌鼓を打ったりと、訪れる人それぞれが魅力的な新しい休日を堪能することができる。

■リョーマ(RYOMA)の休日とは

Roman(ロマン)

テーマ: 歴史や自然から土佐のパワーを感じる



- 歴史文化施設の企画展
(歴史民俗資料館や坂本龍馬記念館の30周年特別企画等)
- ジオパークをめぐるガイドツアー
(室戸世界ジオパーク、土佐清水ジオパーク)

Yasuragi(やすらぎ)

テーマ: 自然の優しさが癒しの時間をくれる



- 清流での渓流ガイドツアーやラフティング
(中津渓谷、安居渓谷等)
- 大自然のもとでのワークेशन
(室戸市、土佐清水市)
- 穏やかな海辺や川のほとりでのキャンプ

Oishii(おいしい)

テーマ: 絶対の自信! 土佐の幸を食べつくす



- 「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」ランキングにおいて11年間で6度の日本一に輝いた自慢の食文化
(カツオのたたき、生産量日本一のゆずやしょうが)

Manabi(学び)

テーマ: 世界が認めた自然遺産・文化に学ぶ



- 海と自然のアドベンチャーミュージアム
足摺海洋館「SATOUMI」
- 日本遺産認定の中芸森林鉄道
- 世界にも通用する四国遍路
- 高知ならではの伝統文化体験

Active(アクティブ)

テーマ: 土佐の自然と全身でたわむれる

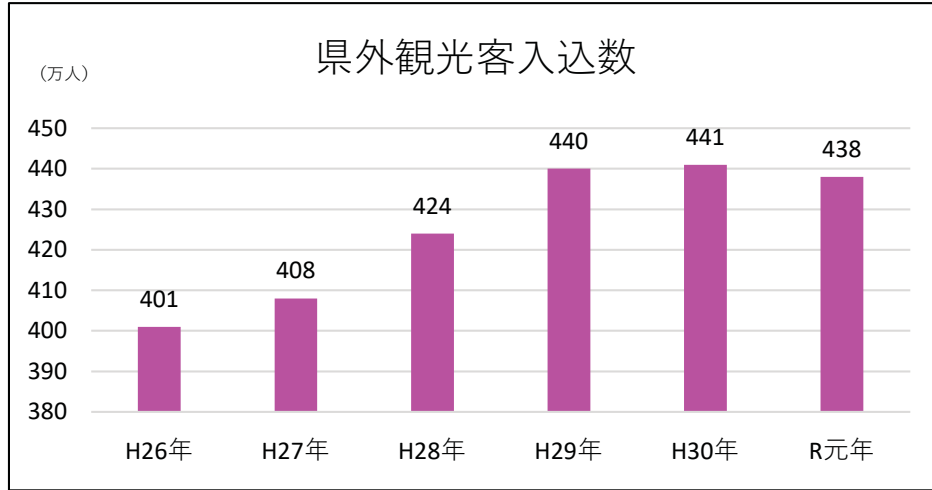


- 高知の自然とたわむれるアクティビティ
(カヌー、ダイビング、ジップライン等)
- 清流での渓谷ガイドツアーやラフティング
(中津渓谷、安居渓谷等)
- 山、川、海の絶景ドライブ



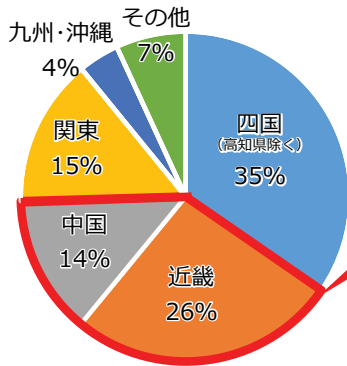
本県の強みである「自然」「歴史」「食」の観光基盤をフル活用した観光キャンペーン「リョーマの休日」を展開し、持続可能な観光振興につなげる。

■県外観光客入込数の推移



※出典：R元年県外観光客入込・動態調査報告書

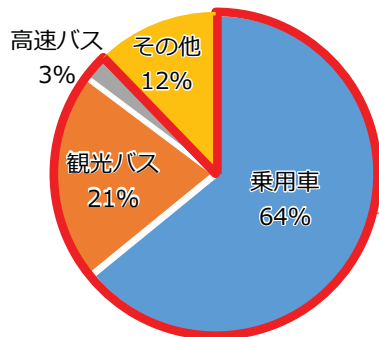
■発地ブロック別入込割合



近畿・中国
からの旅行者が
4割を占める

※出典：R元年県外観光客入込・動態調査報告書

■県外観光客の利用交通機関割合



8割以上
約385万人が
自動車を利用

※出典：R元年県外観光客入込・動態調査報告書

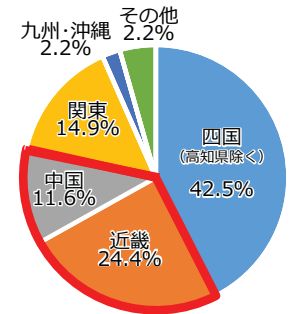
■高知県の主な観光拠点

○北川村「モネの庭」マルモッタン

R2年5月「ボルディゲラの庭」新設



発地ブロック別入込割合



※出典：R元年県外観光客入込・動態調査報告書

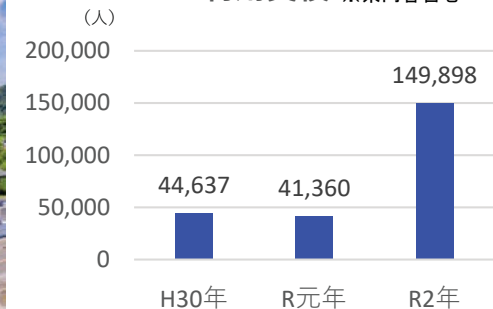
- ・フランスの画家、クロード・モネが愛した、フランス・ジヴェルニーの庭をモデルとして平成12年4月に開園。
- ・本場フランスのクロード・モネ財団より、世界で唯一「モネの庭」と名乗ることが許されている庭園。
- ・令和2年5月には「ボルディゲラの庭」を新設。

○高知県立足摺海洋館「SATOUMI」

R2年7月リニューアルオープン



利用実績 ※県内容含む



※出典：県外観光客入込・動態調査報告書

- ・海と自然のアドベンチャーミュージアムとして、令和2年7月18日にリニューアルオープン。
- ・竜串湾の生き物をメインに約350種、15,000点の生物を展示。
- ・令和2年12月末までの来館者数は初年度目標11万2千人を大幅に上回る約15万人。

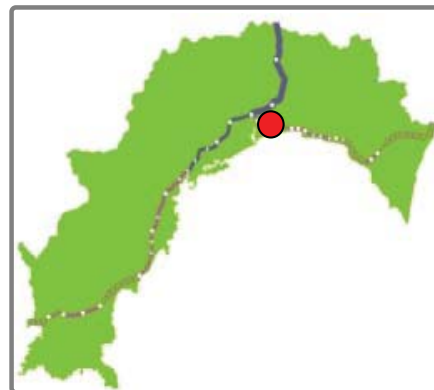
<高知県>産業基盤の整備【なんごく流通団地】

1. 施策

【名称】なんごく流通団地

【概要】

- ・所在地：高知県南国市三和琴平
- ・総面積：約29.1ha
- ・分譲面積：約19.2ha
- ・区画数：46区画
- ・対象業種：流通業（運輸業、倉庫業、卸売業及び流通加工業）
- ・分譲状況：完売（リース含む）



2. 誘致効果

○企業数 25社

主な誘致企業

- ・日本通運株式会社 高知支店（輸送業）
- ・四国名鉄運輸株式会社 高知支店（輸送業）
- ・株式会社朝日通商 高知営業所（流通加工業）
- ・土佐倉庫株式会社（倉庫業）
- ・株式会社精工 高知工場（製造業）
- ・株式会社ヨコハマタイヤジャパン 高知営業所（卸売業）

○雇用従業員数 約900人

■本四間の交流について

高知新港や高知龍馬空港、高知東部自動車道のなんごく南ICの近接に整備。大手運送会社や流通加工業を中心とした企業が立地しており、物流を中心とした本州・四国間の交流促進に貢献している。



高速道路へのアクセス

- ・高知東部自動車道 なんごく南ICまで約5Km（車で8分）
- ・高知自動車道 南国ICまで約13km（車で20分）

1.誘致施策

【名称】高知新港高台用地

【概要】

- ・所在地： 高知県高知市仁井田
- ・対象面積：約27,800m²
- ・対象業種：製造業、流通業、
食品加工業等

【優遇制度】

- ・高知県
企業立地補助制度
- ・高知市
土地及び設備投資に対する助成

2.誘致効果

想定最大クラスの津波でも浸水しない臨海型企業用地であり、製造業や流通業等を対象に分譲又は賃貸借が予定されることから、港を利用した産業振興や新たな雇用の創出等が見込まれる。

■本四間の交流について

高知東部自動車道の高知南ICから約3kmの高知新港の近接に整備。令和4年秋には、県内を拠点とする物流企業の倉庫が整備される予定であり、物流を中心とした本州・四国間の交流促進が期待される。



物流企業倉庫建設予定地
分譲等予定地

高速道路へのアクセス

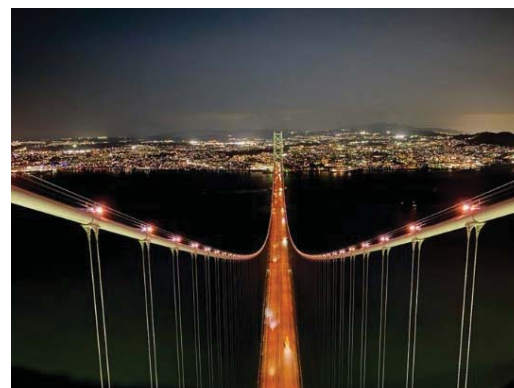
・高知東部自動車道 高知南ICまで約3Km(車で4分)

<本四高速> 地域連携の取り組みについて

- 瀬戸内地域に立脚する企業として地域と連携した取組を加速させるため、2021年4月に地域連携事業推進本部を創設。
- 「瀬戸内企業」として、さらに「インフラ経営」の観点から、世界に誇る長大橋群を活用した集客や高速道路のサービス施設を拠点とした連携の取組を推進。

1. インフラツアーの更なる推進

観光におけるキラコンテンツである長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値の高いツアーを実施し、地域の魅力を向上します。



明石海峡大橋ナイトツアー



プロポーズプラン（明石海峡大橋）



クルーズと組み合わせたツアー



来島海峡大橋桁外面作業車搭乗体験

2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点としてSA・PAを最大限活用します。

○「せとうち魅力発見キャンペーン(仮称)」の展開

テナントや地域とともに、地域の食や特産品をテーマにした「せとうち魅力発見キャンペーン(仮称)」をSA・PAで展開します。



せとうち春のスイーツバトル

テーマ

『瀬戸内をわたり、おいしい
スイーツにめぐり合う』
(2022年春開催予定)



「しまなみレモンと蜂蜜のスフレパンケーキ」

○地域マルシェ等の開催

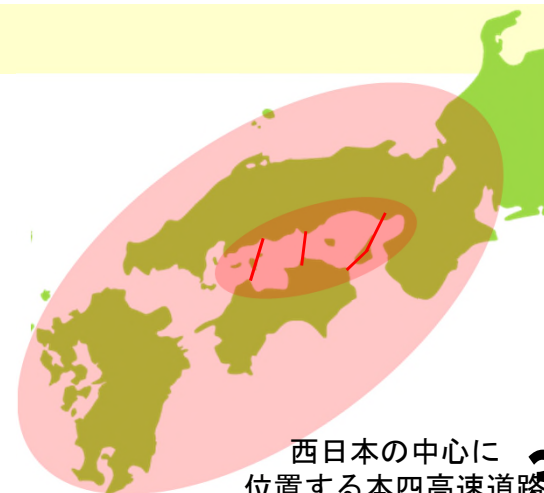
沿線地域の商工会議所や農協・漁協、観光協会や青年会議所等各種団体や企業等と連携しSA・PAを地域の情報発信、特産品の販売拠点として活用します。



地域と連携した特産品販売
(来島海峡SA)

○交流拠点としての活用

中国四国地方を結び、近畿や九州も含めた西日本の中心に位置する地域的特性を活かし、広域的な交流拠点として3ルート of SA・PAを最大限活用します。



西日本の中心に
位置する本四高速道路

3. 島旅の活性化

瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化に取り組みます。

塩飽諸島の自然環境、歴史・文化等の地域資源を活かした島々の周遊ツアーを実施します。



島旅の拠点となる与島パーキングエリアにおいて、島旅の活性化を目的としたイベントを開催し、地域とともに島旅を盛り上げます。



4. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワーク(「瀬戸内美術館ネットワーク」平成20年スタート、本四高速が事務局)のつながりを深化、発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献します。



<本四高速・愛媛県>サイクリングによる地域発信

しまなみ海道や淡路島一周（「あわいち」）、四国一周など、瀬戸内地域に存するサイクリングルート
をネットワーク化し、サイクリングを通じて地域の魅力を国内外に発信します。



（１）瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進

しまなみ海道、「あわいち」、海岸沿いや島々をめぐるコースなど、瀬戸内地域全体に存する多数のサイクリングルートをネット
ワーク化し、サイクリングで自在に周遊できるようにするとともに、安全利用等も含めた受入態勢を整え、瀬戸内地域が「サイクリ
ングの推進エリア」となるように2025年の大阪・関西万博を目指して普及します。



（２）「環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）」の設置及びプロモーション等

ネットワーク化の推進に向けて、瀬戸内地域の地方公共団体や地方整備局、運輸局、経済団体やサイ
クリングルートを管理・運営する主体などとともに「
環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）」を
設置し、瀬戸内地域におけるサイクリング文化やE-
バイクの普及・促進を支援する各種活動を展開する
とともに、世界に誇るサイクリングルートを有する瀬
戸内地域を国内外に向けて発信し、インバウンドも
含め世界中のサイクリストが集う地域となるよう、取
り組んでまいります。

環瀬戸内サイクリングネットワーク協議会（仮称）

地方自治体（県・市・町）

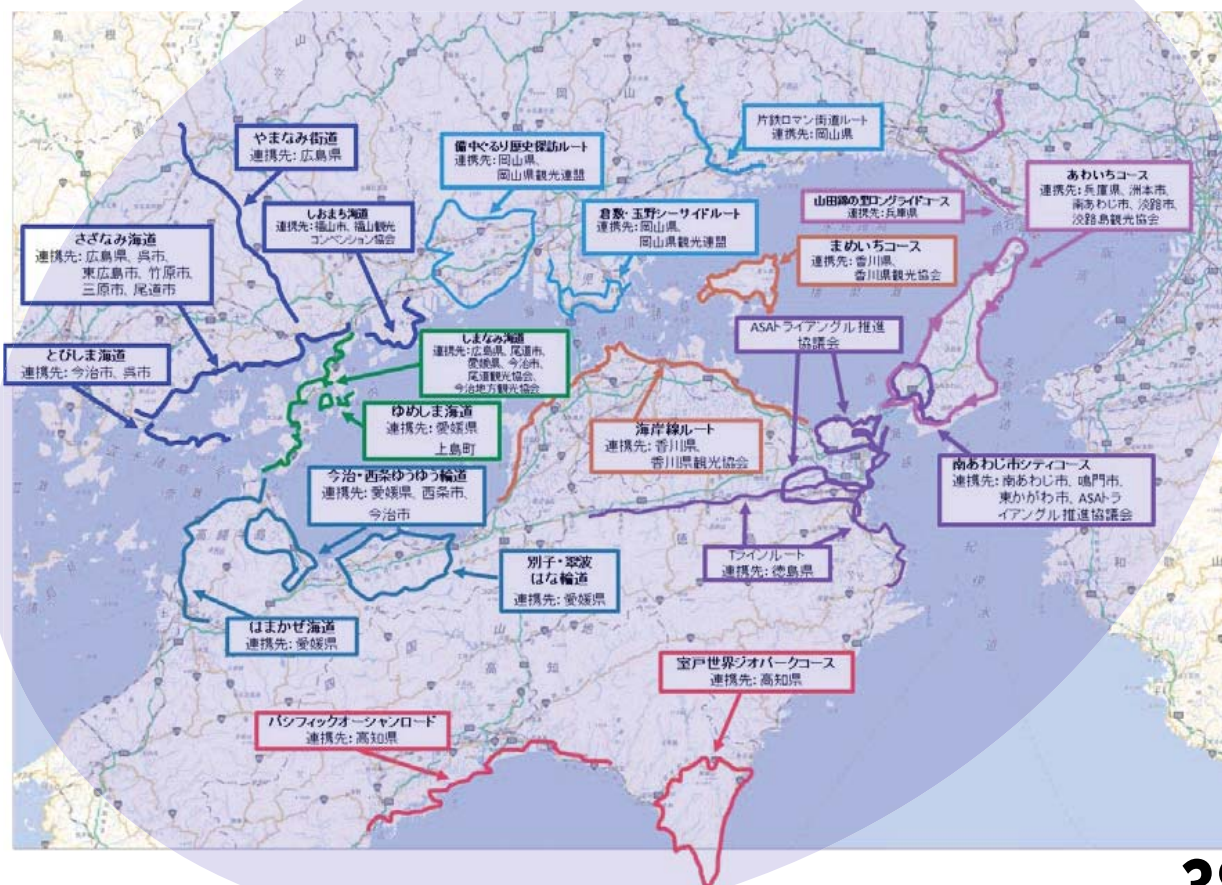
地方整備局

地方運輸局

経済連合会

本四高速

※その他ルートを管理・運営する団体



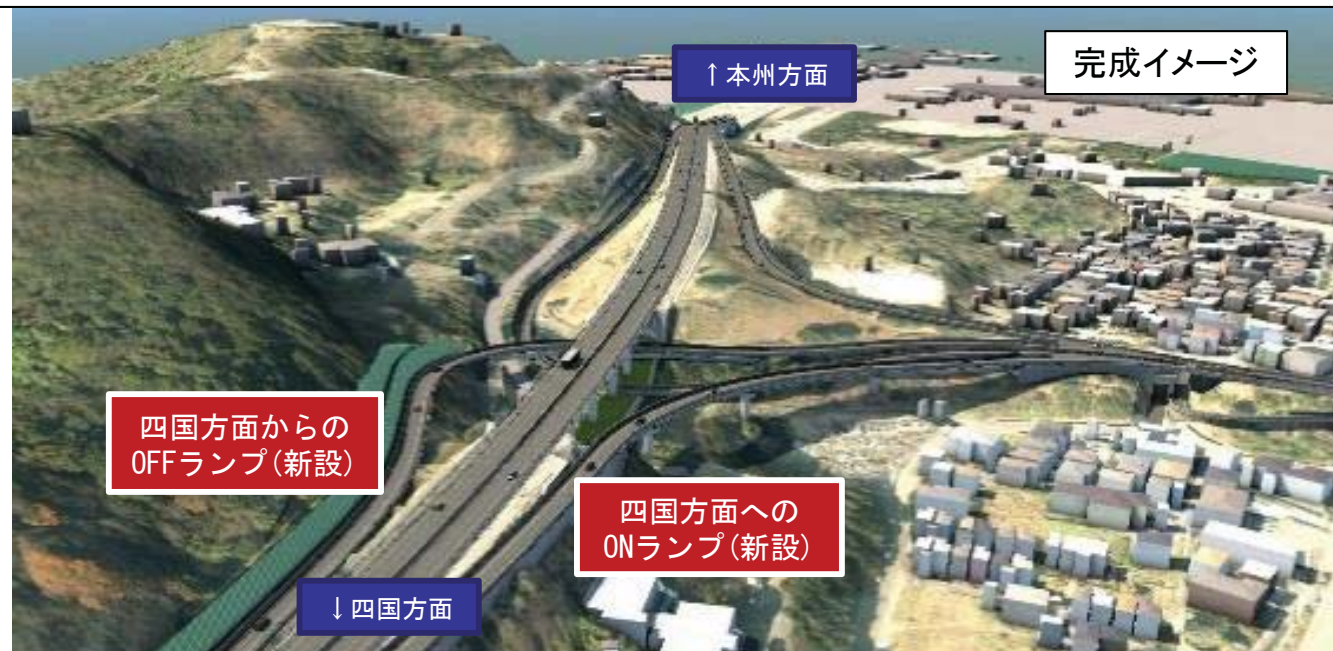
<本四高速> 坂出北ICのフルインター化【産業基盤の整備】

- 本州方向のみへの出入りが可能である坂出北ICについて、四国方面への出入りも可能となるようフル化の事業を実施
- 物流拠点が進出している臨海部のさらなる企業進出の促進、四国側高速道路へのアクセス短縮による物流の効率化や市街地通過交通の減少による安全性の向上などが期待される
- 平成29年度に事業化し、早期の完成を目指して事業中

位置図



完成イメージ



【事業概要】

■ 路線名

一般国道30号（本州四国連絡道路（児島・坂出ルート））（瀬戸中央自動車道）

■ 連結予定施設

連結位置：香川県坂出市

連結予定施設：（上り・下り）県道瀬居坂出港線

■ 運用形態

対象車種：全車種

運用形態：既存料金所を活用したフルIC

運用時間帯：24時間

<NEXCO西日本>環瀬戸内海地域の観光振興に向けた取り組み【ドライブパス】

- 観光振興を通じた地域社会の活性化を目的に、指定エリア内の走行が定額で利用できる企画割引を実施。
- 新型コロナウイルス感染症により影響を受けている西日本エリアの観光支援のため、R2年度は、GoToトラベル事業の対象となるドライブパスを実施し、R3年度も引き続き「西日本観光周遊ドライブパス」をJB本四高速と連携し実施。
- アンケート結果などを分析し、より魅力的な企画割引を目指し、関係機関と連携しながら取り組みを進める。

1. 企画割引の概要(R3年度の事例)

西日本観光周遊ドライブパス

【対象期間】

令和3年11月8日(月)～令和3年12月20日(月)

【プラン内容】

- ・ETC車限定で関西・中国・四国・九州の4地域を対象に13プランを用意
- ・四国地域は四国内が乗り放題になる「四国乗り放題プラン」を実施
- ・JB本四高速の全路線が対象エリアに加わり、四国だけでなく、しまなみ海道の島々や淡路島などの瀬戸内海エリアまで周遊いただけるプランも用意



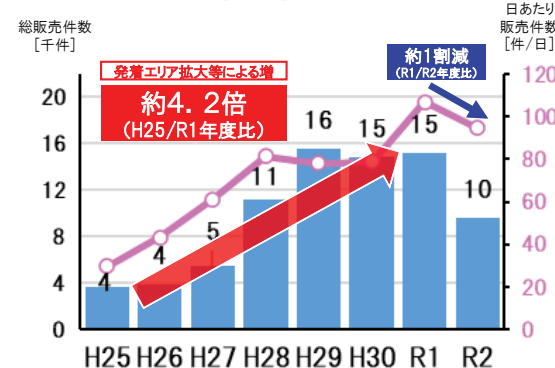
【販売価格(JB本四高速セットプラン)】

乗り放題プラン	日数	軽自動車等	普通車
四国乗り放題プラン	2日間	5,000円	6,300円
	3日間	5,500円	6,900円
四国乗り放題プラン (JB本四高速セットプラン)	2日間	7,800円	9,800円
	3日間	8,300円	10,400円

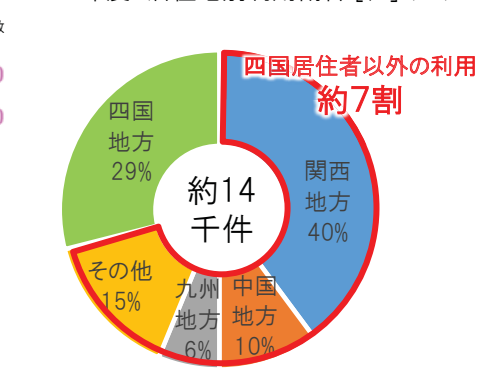
2. R2年度までの販売状況

- 販売件数(※1)はH25からR1年度比で『約4.2倍』に増加
- コロナ禍の外出自粛ムードや感染症再拡大による申込受付停止等によりR2年度の販売件数は減少傾向
- R2年度については、四国居住者以外の利用が全体の『約7割』(※2)を占めており環瀬戸内海地域の交流促進に寄与

▼販売件数の推移[千件](※1)



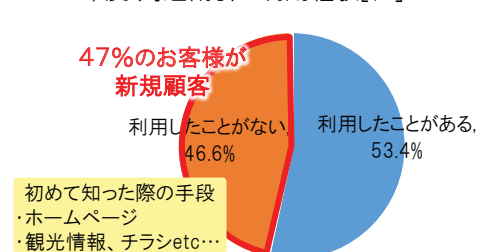
▼R2年度 居住地別利用割合[%](※2)



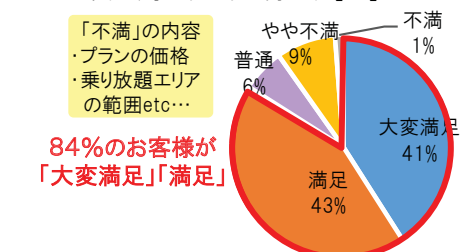
3. R2年度取り組みに関するアンケート結果

- 約47%のお客様が周遊割引を初めて利用される新規顧客
- 8割以上のお客様が「大変満足」「満足」と回答

▼R2年度 周遊割引の利用経験[%]



▼R2年度 周遊割引の満足度[%]



○NEXCO西日本グループでは、高速道路を通じて自治体や関連団体と連携したキャンペーンや、デジタルスタンプラリーなど「新しい生活様式」に適應した、お客様に地域を楽しんでいただける新しいクルマ旅を提案しています。

○ お国じまんカードラリー2021

本四高速及び西日本各府県と連携し、西日本エリア151スポットに設置してあるカードを集めて応募すれば、そのポイント数に応じた賞品が当たるキャンペーンを実施しています。

(期間:2021年11月1日~2022年2月28日)

※西日本地域の一部において新型コロナウイルスの感染急拡大に伴う、まん延防止等重点措置が発令されたことから、2022年1月9日~31日まで一時停止



○ 淡路島・四国 デジタルスタンプラリー

JBハイウェイサービス株式会社および一般社団法人淡路島観光協会と連携し、対象店舗に設置しているQRコードを読み込みスタンプを集めると個数に応じて景品が当たるキャンペーンを実施しています。
(期間:2021年11月20日~2022年2月28日)

《上板SA(上)にて「ひと足先に、淡路島を先取り! ENJOY淡路島コーナーを展示》



兵庫県立淡路島公園アニメパーク「ニジゲンノモリ」情報



「はじまりの島」キャラクターパネル展示



淡路島の観光情報と「お得なクーポン券」の配布

○ Go To IYO キャンペーン

愛媛県伊予市と連携し、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた地域の観光・産業を支援するため、高速道路を活用して伊予市へお得にお越しいただくことを目的としたキャンペーンを開催しました。

(期間:2021年11月1日~12月26日)



○ 四国×瀬戸内 SA・PAいち推しラーメン選手権

四国内のSA14店舗、神戸淡路鳴門自動車道・瀬戸中央自動車道(瀬戸大橋)・西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)のSA・PA11店舗において四国・瀬戸内SA・PAのラーメンNo.1を決めるラーメン選手権を開催しています。

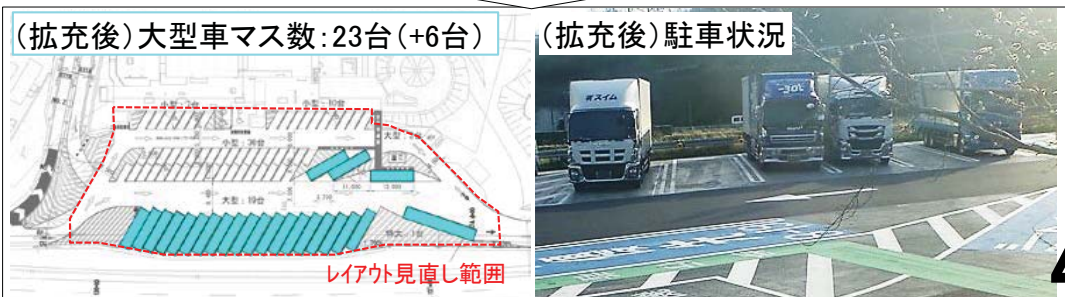
(期間:2021年12月25日~2022年2月13日)



- ◆瀬戸中央自動車道開通及び8の字ネットワーク等の整備により、
大型車の交通量がS63年から約9倍に増加！



-





情報発信

- **観光地名称を表示した標識**
⇒直轄国道以外に拡大
- **案内の多言語化**
⇒英語表記の適正化
- **高速道路ナンバリング等**
⇒印刷物への記載促進
- **自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報**
- **情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ**
- **四国八十八景のプロモーション**
- **本四高速の新たな料金の広報**
- **SNSやHPを活用したインパクトのある情報、目に留まりやすい情報発信**



観光連携

- **環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興**
⇒サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
⇒サッカー公式試合での交流促進
- **瀬戸内海の「海」の魅力の発信**
⇒本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組みを構築)
⇒瀬戸内海国立公園ウォーク
- **観光地における渋滞緩和**
⇒観光地における渋滞対策の検討・対策実施
- **利用者目線に沿ったモデル、周遊ルートの設定**
⇒観光地までのルート、所要時間を案内
- **2次交通の改善、M a a S**
- **周遊を支援する事業の実施**
⇒県独自の取組み



産業連携

- **物流機能の強化**
⇒高規格ネットワークの拡充
⇒SA・PAの大型駐車マスの拡充
- **産業基盤の整備**
⇒工業団地等の整備
⇒地域活性化IC、スマートICの整備
⇒県による誘致補助制度の創設等
- **ワーケーション、サテライトオフィス等の取組**



生活、文化等

- **環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化**
⇒歴史的遺産のネットワーク構築とPR
⇒文化芸術ネットワークの推進
- **環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承**
⇒食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加

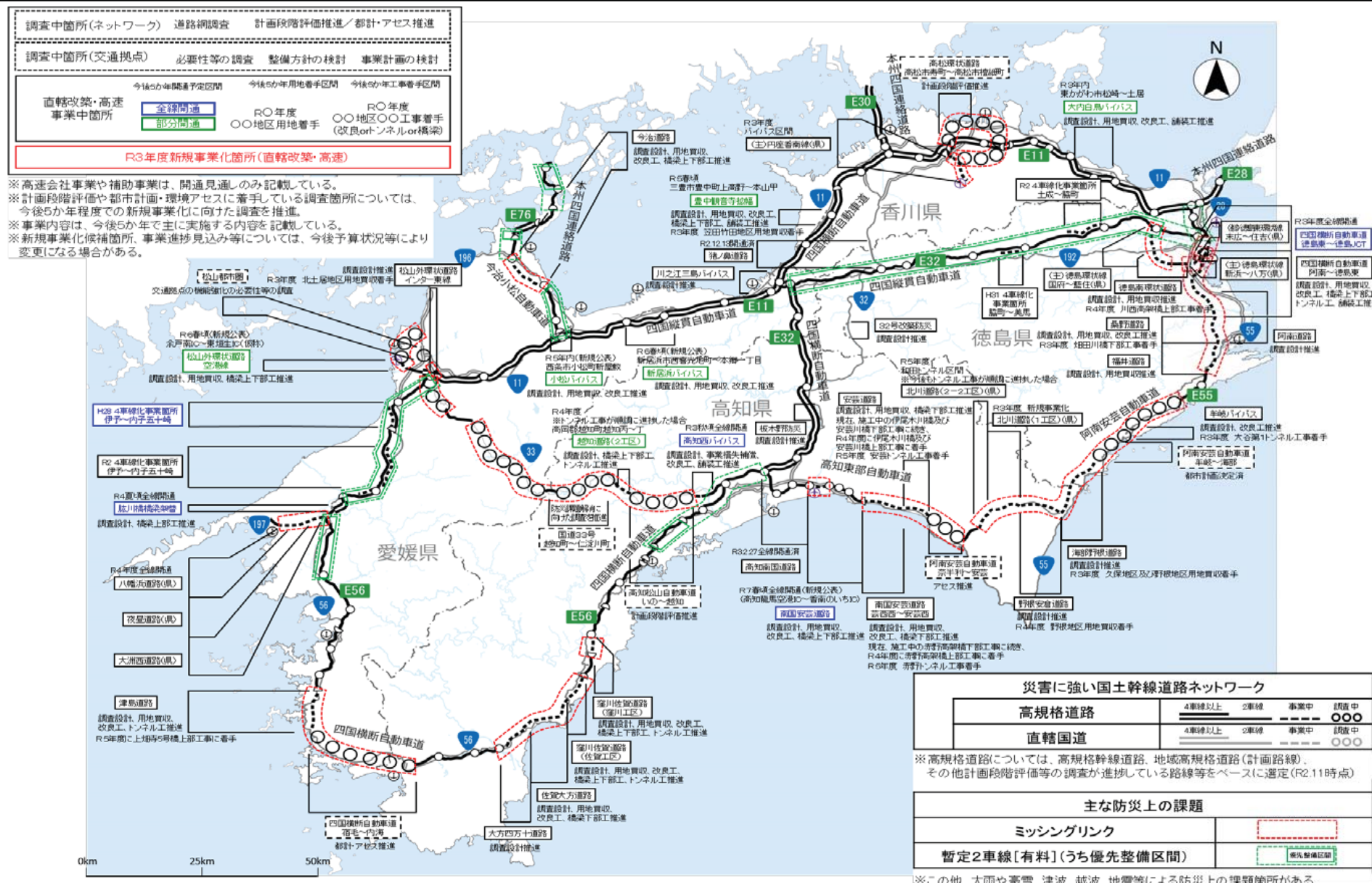


その他

- **「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組**
⇒観光客の実態調査
⇒トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、クレジットカード対応・免税対応、多言語化
⇒道の駅での相互連携
- **「道の駅」施設管理における見える化**
⇒情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組
- **道路ネットワーク整備**

<四国地整> 道路ネットワーク整備 (防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム)

- 令和3年4月に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定。
- 高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線区間の4車線化、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワークの強化等を計画的に推進。



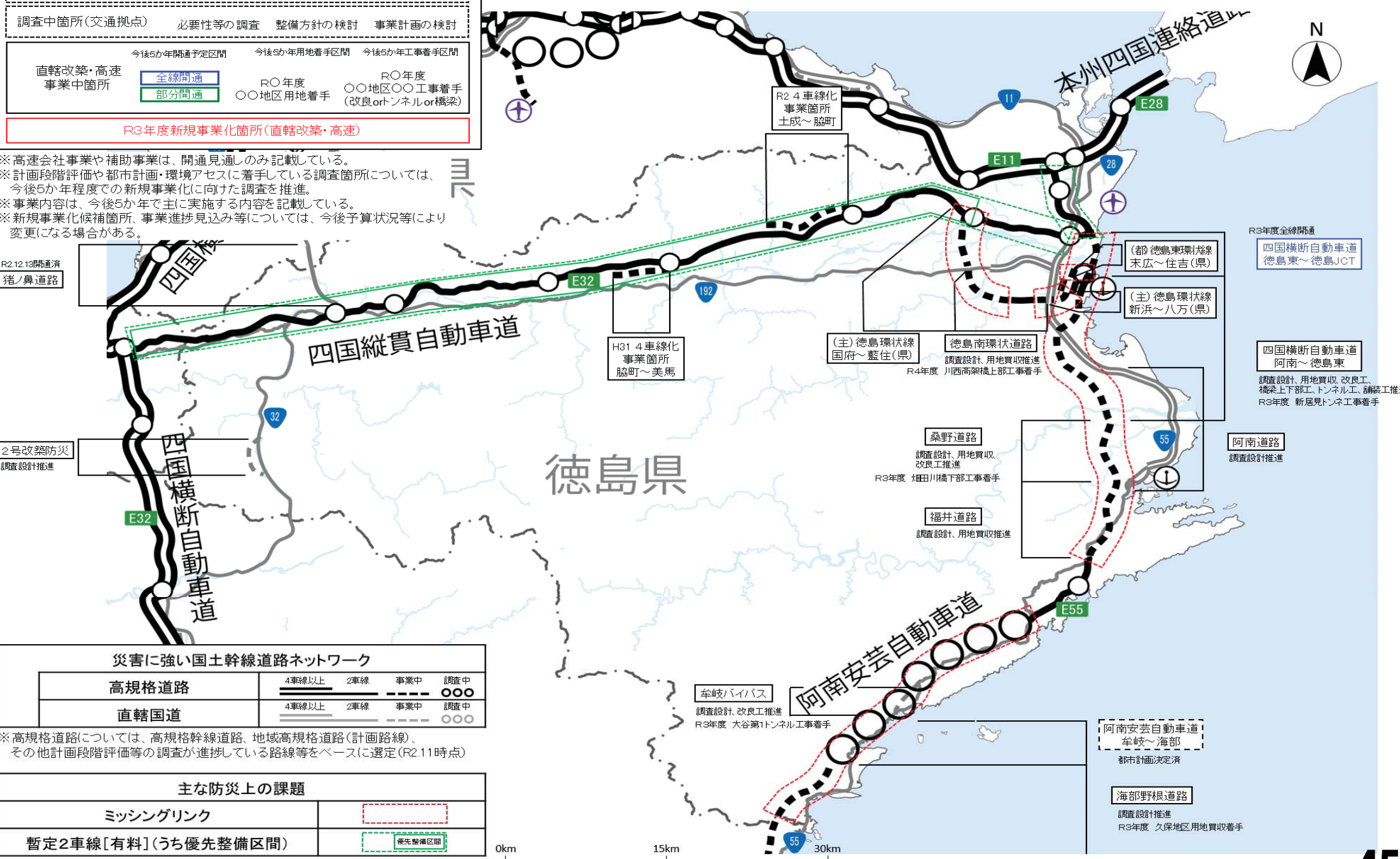
<四国地整> 道路ネットワーク整備 (防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム)

徳島ブロック



調査中箇所(ネットワーク)	道路網調査	計画段階評価推進/都計・アセス推進
調査中箇所(交通拠点)	必要性等の調査	整備方針の検討 事業計画の検討
直轄改築・高速事業中箇所	今後5か年開通予定区間 今後5か年用地着手区間 今後5か年工事着手区間	全線開通 部分開通 R〇年度 〇〇地区用地着手 R〇年度 〇〇地区〇〇工事着手 (改良orトンネルor橋梁)
R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)		

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5か年程度での新規事業化に向けた調査を推進。
 ※事業内容は、今後5か年で主に実施する内容を記載している。
 ※新規事業化候補箇所、事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。



災害に強い国土幹線道路ネットワーク				
高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定(R2.11時点)

主な防災上の課題	
ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	優先整備区間

※この他、大雨や豪雪、津波、越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

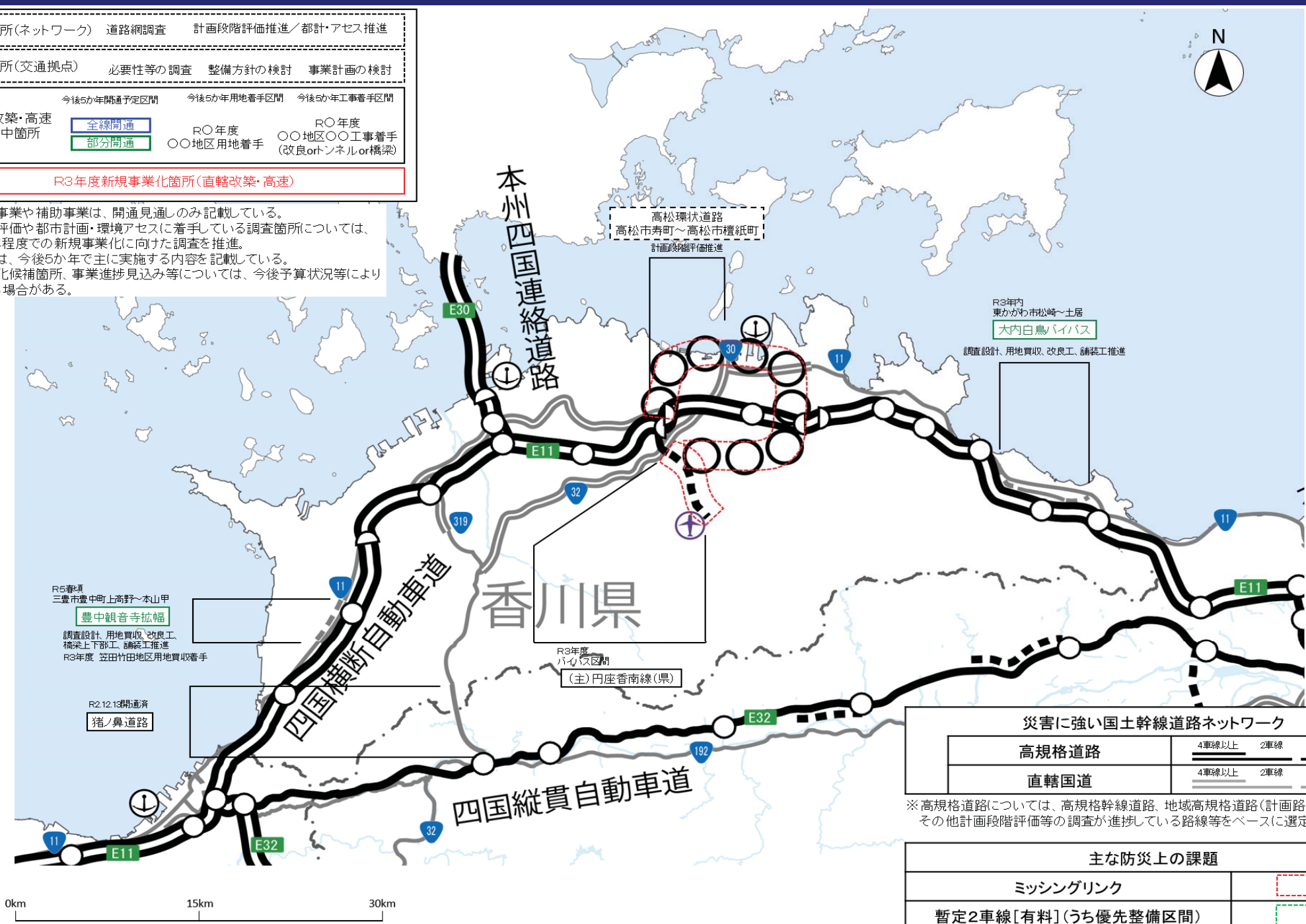
<四国地整> 道路ネットワーク整備 (防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム)

香川ブロック



調査中箇所(ネットワーク)	道路網調査	計画段階評価推進／都計・アセス推進
調査中箇所(交通拠点)	必要性等の調査	整備方針の検討 事業計画の検討
直轄改築・高速事業中箇所	今後5か年開通予定区間 全線開通 部分開通	今後5か年用地着手区間 R〇年度 〇〇地区用地着手 今後5か年工事着手区間 R〇年度 〇〇地区〇〇工事着手 (改良orトンネルor橋梁)
R3年度新規事業化箇所(直轄改築・高速)		

※高速会社事業や補助事業は、開通見通しのみ記載している。
 ※計画段階評価や都市計画・環境アセスに着手している調査箇所については、今後5か年程度での新規事業化に向けた調査を推進。
 ※事業内容は、今後5か年で主に実施する内容を記載している。
 ※新規事業化候補箇所、事業進捗見込み等については、今後予算状況等により変更になる場合がある。



災害に強い国土幹線道路ネットワーク			
高規格道路	4車線以上 2車線	事業中 調査中	〇〇〇
直轄国道	4車線以上 2車線	事業中 調査中	〇〇〇

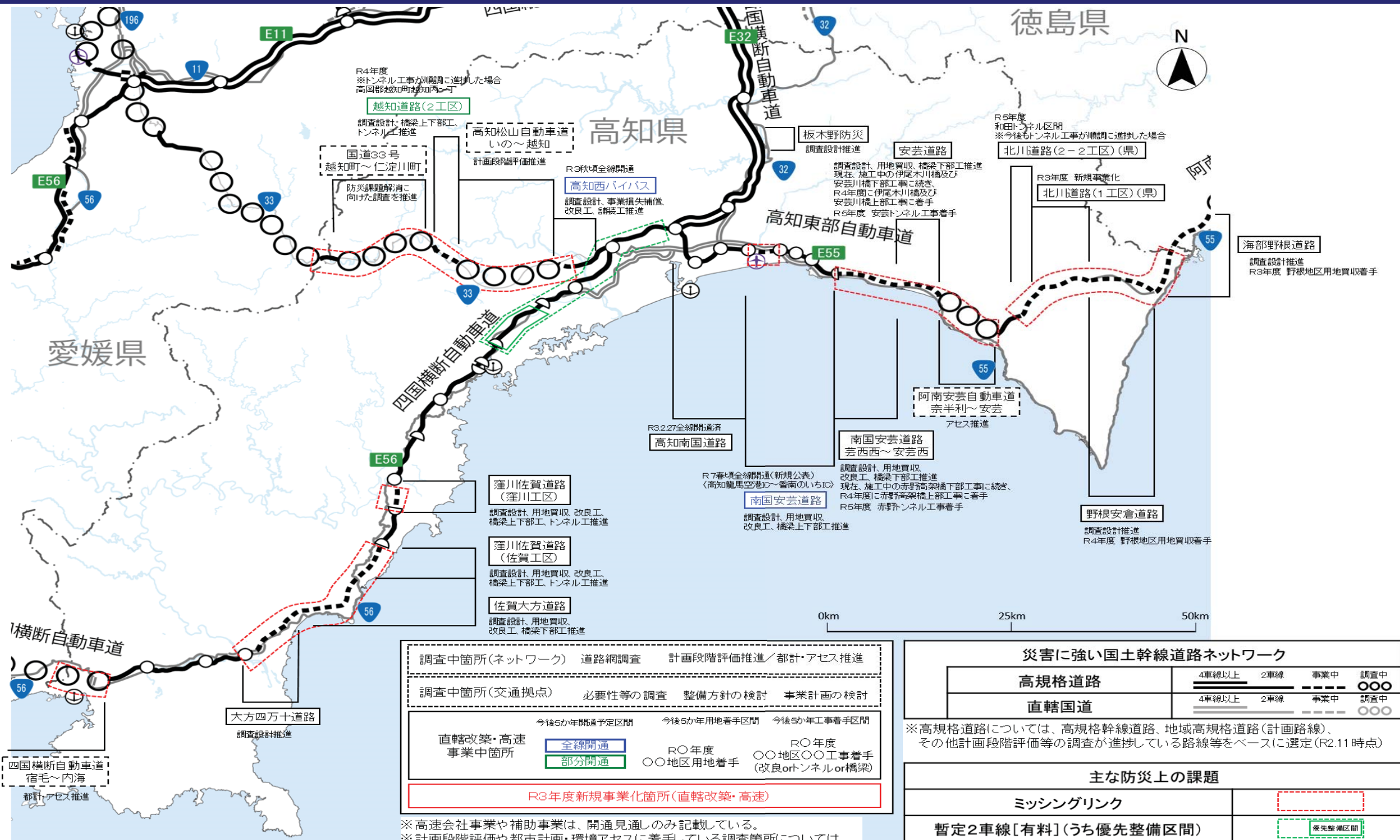
※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定(R2.11時点)

主な防災上の課題	
ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	優先整備区間

※この他、大雨や豪雪、津波、越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

<四国地整> 道路ネットワーク整備 (防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム)

高知ブロック



災害に強い国土幹線道路ネットワーク				
高規格道路	4車線以上	2車線	事業中	調査中
直轄国道	4車線以上	2車線	事業中	調査中

※高規格道路については、高規格幹線道路、地域高規格道路(計画路線)、その他計画段階評価等の調査が進捗している路線等をベースに選定(R2.11時点)

主な防災上の課題	
ミッシングリンク	
暫定2車線[有料](うち優先整備区間)	優先整備区間

※この他、大雨や豪雪、津波、越波、地震等による防災上の課題箇所がある。

<四国地整>「情報発信」に関する取組内容及び取組予定（インフラ整備）

●観光地名を表示した標識

取組概要

- 観光先進国や地方創生の実現に向け、観光地等へのわかりやすい案内となるよう、交差点名標識に観光地等の名称を表示する改善が必要。
- 対象箇所、観光地等の名称の表示内容等は、地域の意向を踏まえ、観光関係者、都道府県公安委員会等と連携し、道路標識適正化委員会において決定。



取組状況・予定

- 平成28年度以降、四国内の直轄14か所、直轄以外3か所で実施。
- 今後も地域の意向を踏まえながら、直轄のみならず直轄以外の路線においても改善が必要な箇所について整備を推進。

都道府県	路線名	表示内容	
		改善前	改善後
香川県	国道11号	志度	志度寺
香川県	国道11号	高松町	屋島
香川県	国道11号	屋島西町	屋島競技場
香川県	国道32号	—	滝宮天満宮
香川県	国道32号	戸川	たからだの里さいた
高知県	国道32号	—	築園場
徳島県	国道55号	—	兼王寺前
徳島県	国道55号	—	南阿波サンライズ入口
高知県	国道55号	—	安芸市営球場入口
高知県	国道55号	—	香岡山文化の森入口
高知県	国道55号	—	安芸市営球場入口
愛媛県	国道56号	津島町高田南楽園入口交差点	南楽園入口
愛媛県	国道196号	本町1	城山公園入口
愛媛県	国道196号	—	松山総合公園入口
愛媛県	国道317号	—	石手寺
香川県	県道208号	—	こんぴらさん
高知県	県道14号	—	桂浜入口

●案内の多言語化

取組概要

- 訪日外国人旅行者が迷うことなく、目的地に辿り着くためには、地域における統一性・連続性を確保した適正な多言語表記の設置・改善が必要。
- 各道路管理者間での整合のみならず、観光パンフレットや、国土地理院作成の英語表記の地図等とも整合を図る。
- 関係機関と調整し、自然地名や施設名毎の個々の英語表記について定めた英語表記規定を策定。

施設等	英語	施設等	英語
鉄道駅、軌道駅	Station	町役場	Town Office
空港	Airport	村役場	Village Office
港湾	Port	区役所	Ward Office
自動車駐車場	Parking	郵便局	Post Office
トンネル	Tunnel	病院	Hospital
橋	Bridge	小学校	Elementary School
通り	Avenue / Street / Boulevard	中学校	Junior High School
城	Castle	高等学校	High School
温泉	Onsen	大学	University / College / Institute
美術館	Museum of Art	体育館	Gymnasium
公園	Park	山岳	Mountain
県庁	Prefectural Office	河川	River
市役所	City Hall		

取組状況・予定

【道路標識】

- 令和元年度に道路標識適正化委員会各県部会において、英語表記対訳リストの素案を作成済。
- 現在、国土地理院作成の地理院地図に対する英語表記との突合作業を実施中。
- 更新が必要な箇所は、順次対応予定。

【各種案内板、ホームページ、パンフレット等】

- ニーズを踏まえ、英語以外の言語への対応を随時検討。

●高速道路ナンバリング等

取組概要

- 訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現を目指すため、高速道路の路線名に併せ、固有の言語に依存しない路線番号を用いる「ナンバリング」の整備を推進。

【高速道路ナンバリングの対象路線】

- 高規格幹線道路網及び高規格幹線道路網を補完し地域の高速道路ネットワークを形成する路線
- 主要な空港・港湾、観光地へアクセスする高速道路ネットワークを形成する路線



取組状況・予定

【道路標識】

- 高規格道路、直轄国道等の対象路線における標識では、2020年末までにナンバリング完了。

【印刷物】

- 民間会社が発行する地図の新版、増版時において記載を継続。
- 官公庁が発行する地図、イベント資料、記者発表資料の地図引用箇所など、記載を継続。

<四国地整>「情報発信」に関する取組内容及び取組予定（四国八十八景のプロモーション）

【目的】

四国を訪れる観光客の増加を図るため、四国らしい風景や街並みなどの景観を「四国八十八景」として選定し、その魅力を広くプロモートするプロジェクト

【プロジェクトのねらい】

- ・ 四国八十八景という「四国ブランド」の観光商品を作る
- ・ 基本的には「四国各地を巡る」商品
- ・ 四国各地の連携により「四国ブランド」の魅力アップ
- ・ 国内外へ情報発信（売り込み）を行う
- ・ 新しい素材（景観）の発掘
- ・ プロジェクトで眺める場所（魅力）のレベルアップ
- ・ 来訪者増をてこに町おこし

四国八十八景実行委員会

四国経済連合会／四国ツーリズム創造機構／四国運輸局／四国地方整備局
徳島県／香川県／愛媛県／高知県／全日本空輸（株）／日本航空（株）
四国旅客鉄道（株）／西日本高速道路（株）／本州四国連絡高速道路（株）
（株）JTB／楽天（株）トラベル事業 四国支社／日本放送協会 松山放送局
RSK山陽放送／四国なんでも88箇所巡礼推進協議会



絶景の聖地 徳島 香川 愛媛 高知

四国八十八景

あなたの好きな四国を盛り上げよう！

■ 八十八の特等席をご用意しました。■

四国八十八景プロジェクトとは

四国を訪れる観光客の増加を図るため、四国らしい風景や街並みなどの景観を「四国八十八景」として選定し、その魅力を広くプロモートしていくプロジェクトです。ぜひ、訪れてみてください。



眺める場所を選ぶのがプロジェクトのポイント！

「四国八十八景」は、四国の素晴らしい景色を実感できる「四国らしい風景」とそれを「眺める場所」を一組として選びました。

四国八十八景ホームページ

四国八十八景に関する最新情報を掲載しております！
四国八十八景 検索

◆ サポーター会員募集中！ ◆

「四国の魅力をもっと知ってもらいたい」と思っているみなさん、「サポーター会員」になって一緒に四国の魅力を情報発信していきましょう！

- 応募資格：どなたでも応募できます。
※個人、法人、居住区は問いません。
随時応募を受け付けます。【会費無料】
- 応募方法：ご所属（法人名）、お名前、ご住所、電話番号、E-mail をご記入のうえ、下記アドレスにメールでお申込みください。

メールアドレス
skr-a88k@mlit.go.jp

四国八十八景実行委員会

四国経済連合会／四国ツーリズム創造機構／四国運輸局／四国地方整備局／徳島県／香川県／愛媛県／高知県／全日本空輸（株）／日本航空（株）／四国旅客鉄道（株）／西日本高速道路（株）／本州四国連絡高速道路（株）（株）JTB／楽天（株）トラベル事業 四国支社／日本放送協会 松山放送局／RSK山陽放送／四国なんでも88箇所巡礼推進協議会

お問い合わせ 四国地方整備局 企画部 広域計画課 TEL.087-811-8309
四国運輸局 観光部 観光企画課 TEL.087-802-6735





四国八十八景と道の駅を巡ってスタンプをゲットしよう！

スタンプをみせて現地で特典をもらおう！

さらにスタンプを集めればプレゼントに応募できる！

※選定地によっては特典がない場合もございます。

実施期間 2021年11月1日（月）～2022年1月31日（月）

※新型コロナウイルス感染状況によっては、当企画が中止となる場合があります。

参加方法

STEP.1

スマートフォンで専用サイトにアクセスし、ユーザー登録の上、スタンプラリーに参加
※タブレット・PCは使用不可



STEP.2

四国八十八景、道の駅の選定地に着いたら位置情報（GPS）等を使ってスタンプをゲット！



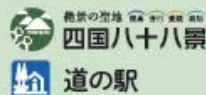
STEP.3

現地で特典を受けられます。さらに条件を達成するとプレゼント抽選に応募できます。



電子スタンプラリーの期間やサイトへのアクセス、スタンプ取得や応募にかかる通信費は参加者の負担となります。通信環境圏外や機器の不具合・データ通信時のスタンプの取得はできません。本企画は四国八十八景実行委員会と四国地区「道の駅」連絡会が共同で実施し、参加者の皆様には一歩も引かず日本郵政（JAF）のWebサイト「ドライブスタンプラリー」を利用します。お客様の個人情報、本企画の運営に関する以外の目的で利用しません。また、プライバシーポリシーに基づき個人情報を管理します（JAFプライバシーポリシー：https://jaf.or.jp/common/privacy）

電子スタンプラリー対象地・現地特典&景品は中面・裏面へ



共催／四国八十八景実行委員会 四国地区「道の駅」連絡会（四国八十八景実行委員会）
四国八十八景実行委員会（一社） 四国フリーパス推進機構／四国観光局／四国地方自治体／徳島県／香川県／愛媛県／高知県／全日本観光（株）／日本観光（株）／四国観光振興（株）／西日本観光（株）（株）／日本交通観光（株）（株）／JTB（株）／楽天（株）／日本観光協会 山形観光局／RSK 山形観光（株）／四国八十八景と道の駅を巡る観光推進協議会
本事業は（一社）四国八十八景実行委員会の協力を受けています。 協力／（一社）日本郵政（株）徳島支店

県別 電子スタンプ取得場所一覧

徳島県	四国道の駅
[1] 1 満の道（大鳴門橋遊歩道）周辺	[22] 1 直光ゆうゆう館 建物周辺
[2] 2 レストラン「カリフォルニア・テーブル」周辺	[23] 2 鷲の星 建物周辺
[3] 3 ひょうたん島周遊船の乗り場周辺	[24] 3 穴喰温泉 建物周辺
[4] 4 嵐山ロープウェイ周辺	[25] 4 だんり 建物周辺
[5] 5 神山森林公園周辺	[26] 5 にしいや 建物周辺
[6] 6 岩の鼻展望台周辺	[27] 6 わじき 建物周辺
[7] 7 阿波の土佐展望台周辺	[28] 7 公方の郷なかかわ 建物周辺
[8] 8 脇町うだつの町並み周辺	[29] 8 もみじ川温泉 建物周辺
[9] 9 蓮華山 本堂寺周辺	[30] 9 温泉の星神山 建物周辺
[10] 10 直光二層うだつの町並み周辺（船本屋を含む）	[31] 10 藍ランドうだつ 建物周辺
[11] 11 大崎公園（加茂の大クス）周辺	[32] 11 三野 建物周辺
[12] 12 水の丸ふれあい公園周辺	[33] 12 日和佐 建物周辺
[13] 13 大歩危観光遊覧船 乗り場周辺（大歩危まんが）	[34] 13 第九の星 建物周辺
[14] 14 奥谷二重がさづり橋周辺	[35] 14 大歩危 建物周辺
[15] 15 剣山山頂周辺	[36] 15 ひなの里かつら 建物周辺
[16] 16 大川原高原周辺	[37] 16 みまの里 建物周辺
[17] 17 大蔵寺ロープウェイ周辺	[38] 17 いたの 建物周辺
[18] 18 白山 匠王院平等寺周辺	
[19] 19 匠王山 無量寿院 東王寺周辺	
[20] 20 幸崎町モデル木道施設「モラスコむぎ」周辺	
[21] 21 海中観光船「ブルーマリン」乗り場周辺	

愛媛県	四国道の駅
[1] 32 嵯峨荘周辺	[25] 1 瀬戸農業公園 建物周辺
[2] 43 高経町周辺	[26] 2 マイントピア別子 建物周辺
[3] 44 外治 石町の里周辺	[27] 3 日吉夢遊地 建物周辺
[4] 45 遊子水南浦段田周辺	[28] 4 ひろた 建物周辺
[5] 46 成川溪谷谷センター周辺	[29] 5 ふたみ 建物周辺
[6] 47 津浜溪谷 曹徳の滝周辺	[30] 6 内子フレッシュパークからり 建物周辺
[7] 48 ギャラリー「愛媛」宮崎周辺	[31] 7 伊方きらら館 建物周辺
[8] 49 大洲まちの駅あさみやお周辺	[32] 8 きなはら屋しらかわ 建物周辺
[9] 50 八日市・道の駅あまみち（大観覧車）周辺	[33] 9 きらやまM.C. 建物周辺
[10] 51 道の駅・あなとオアシス 八幡浜みなと周辺	[34] 10 今治湾／浦温泉 建物周辺
[11] 52 神山展望台周辺	[35] 11 虹の宮公園まつり 建物周辺
[12] 53 松山城周辺	[36] 12 広見の里の三つぼし 建物周辺
[13] 54 道後温泉本館周辺	[37] 13 伯方S・パーク 建物周辺
[14] 55 三津の渡し、三津浜港ターミナル周辺	[38] 14 今治市多岐しまなみ公園 建物周辺
[15] 56 道の駅 しょうみいきき館周辺	[39] 15 しまなみ公園 建物周辺
[16] 57 龜山山頂展望台周辺	[40] 16 小松オアシス 建物周辺
[17] 58 道の駅 多岐しまなみ公園周辺	[41] 17 みか 建物周辺
[18] 59 インランド・シー・リゾート フェスバ周辺	[42] 18 清流の里ひじか 建物周辺
[19] 60 休野村瀬戸内東予周辺	[43] 19 しょうみいきき館 建物周辺
[20] 61 白浜の滝周辺	[44] 20 早瀬の滝 建物周辺
[21] 62 津川溪谷公園周辺	[45] 21 みま 建物周辺
[22] 63 石坂山 稲穂稲穂展望台周辺	[46] 22 小田の郷せせらぎ 建物周辺
[23] 64 道の駅 三つぼし 建物周辺	[47] 23 うらにまきや 建物周辺
[24] 65 マイントピア別子（噴出場所）周辺	[48] 24 露の里 建物周辺
[25] 66 三島公園周辺	[49] 25 八幡浜みなと 建物周辺
	[50] 26 津島やすらぎの里 建物周辺
	[51] 27 どんぶり館 建物周辺
	[52] 28 天空の郷さんさん 建物周辺
	[53] 29 なかやま 建物周辺

香川県	四国道の駅
[1] 67 豊後池道水公園周辺	[21] 1 瀬戸大橋記念公園 建物周辺
[2] 68 県立 琴平公園 観音堂展望台周辺	[22] 2 津田の松原 建物周辺
[3] 69 稲穂山展望台周辺	[23] 3 ことひき 建物周辺
[4] 70 父母ヶ浜周辺	[24] 4 ふれあいパークの 建物周辺
[5] 71 津雲山山頂展望台	[25] 5 小豆島オーブ公園 建物周辺
[6] 72 宮池周辺	[26] 6 小豆島ふるさと村 建物周辺
[7] 73 サン・アンジェリーナ周辺	[27] 7 空の夢みみの木パーク 建物周辺
[8] 74 東山越えせとうち美術館周辺	[28] 8 みらく 建物周辺
[9] 75 花樹海周辺	[29] 9 しおのえ 建物周辺
[10] 76 エンジェルロード周辺	[30] 10 滝宮 建物周辺
[11] 77 四万歩・大観覧展望台周辺	[31] 11 ことなみ 建物周辺
[12] 78 琴平溪谷ロープウェイ山頂駅周辺	[32] 12 恋人の地うたが瀬公園 建物周辺
[13] 79 東林公園周辺	[33] 13 とよはま 建物周辺
[14] 80 鹿島 獅子の霊堂展望台周辺	[34] 14 たたらだの星さい 建物周辺
[15] 81 大歩危自然公園芝生広場周辺	[35] 15 大板城址石記念公園 建物周辺
[16] 82 志度カントリークラブ（レストラン）周辺	[36] 16 ながの 建物周辺
[17] 83 東かがわ観光協会 せんぐり周辺	[37] 17 香南泉 建物周辺
[18] 84 讃岐井岡山駅・かみけし屋付近	[38] 18 遼平の里むれ 建物周辺
[19] 85 キトラカフェ周辺	
[20] 86 国営讃岐まんのう公園周辺	

高知県	四国道の駅
[1] 22 室戸岬 瀬戸湾周辺	[29] 1 大杉 建物周辺
[2] 23 モネの庭「マルモッタン」周辺	[30] 2 すくも 建物周辺
[3] 24 琴ヶ浜外観展望台を含む周辺	[31] 3 大月 建物周辺
[4] 25 高の滝展望台周辺	[32] 4 四万大正 建物周辺
[5] 26 桂浜公園周辺	[33] 5 ゆすばら 建物（宮の湯の温泉）周辺
[6] 27 高知城一帯高知城歴史博物館 周辺	[34] 6 南国風土 建物周辺
[7] 28 中ちりすバーク（レストラン）周辺	[35] 7 美良布 建物周辺
[8] 29 にこ酒周辺	[36] 8 布路・板 建物周辺
[9] 30 いけがわ439（よさこ）交流館周辺	[37] 9 キラメツキ屋 建物周辺
[10] 31 中津溪谷 南の滝周辺	[38] 10 土佐和紙工芸村 建物周辺
[11] 32 嵯峨荘周辺	[39] 11 土佐さくら 建物周辺
[12] 33 高知ふれあいの家 天狗周辺	[40] 12 大杉 建物周辺
[13] 34 shimantoおちやくcafe周辺	[41] 13 かわうその里さき 建物周辺
[14] 35 四万十カヌーとキャンプの里かわらこ周辺	[42] 14 あぐり窪川 建物周辺
[15] 36 四万十川河川敷（入田ヤナギ林）周辺	[43] 15 木のかみ 建物周辺
[16] 37 砂浜美術館（高知県黒潮町・入野の浜）周辺	[44] 16 めじかの里土佐清水 建物周辺
[17] 38 星ヶ丘公園（ヒメノボタンの里）周辺	[45] 17 やす 建物周辺
[18] 39 大岐の浜中央 東照閣周辺	[46] 18 633 奥の里 建物周辺
[19] 40 伊佐津浦（遊覧船乗り場）及び足摺周辺	[47] 19 田代屋 建物周辺
[20] 41 佐賀海水浴場周辺	[48] 20 ビオスおがた 建物周辺
[21] 42 宮崎リゾート 陽子の湯周辺	[49] 21 四万十おがた 建物周辺
	[50] 22 なら土佐佐賀 建物周辺
	[51] 23 よて西土佐 建物周辺
	[52] 24 なかとき 建物周辺

<電子スタンプラリー>

今年度から四国の良さをより多くの人に知ってもらうため、四国が誇る四国らしい風景や街並みなど地域の観光資源をブランド化した「四国八十八景」と、地域のにぎわい創出拠点でもある「道の駅」が相互連携して実施いたします。

<四国地整> 「その他」に関する取組内容及び取組予定

四国地方「道の駅」整備状況 88駅（2021.8現在）

●道の駅におけるインバウンド対応・交流促進の取組

取組概要

【トイレの洋式化】

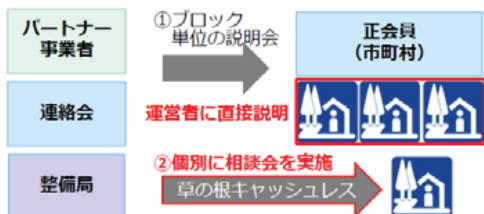
・既設設備が和式便器のみ、または和式と洋式便器の混合で整備している「道の駅」は、より良い快適性の観点から全て洋式化とし、温水洗浄便座に改修。



【フリーWi-Fiの設置】

・スマートフォンやタブレットから、24時間365日無料でアクセスでき、道路情報、気象情報、災害情報、防災情報の他、道の駅周辺の地域・観光情報などが入手可能となるフリーWi-Fiを設置。

【キャッシュレス決済環境の整備】



【免税対応・免税店の拡大】

・外国人旅行客の動向に関する情報提供等により、免税制度の活用を働きかけ、免税対応施設の拡大を図る。
・免税手続きに関する助成制度の認知を深める周知を行う。

【多言語対応】

・「道の駅」のインバウンド観光の拠点化を目指し、JNTOの外国人案内所の認定取得を推進。



【道の駅での相互連携】

・地域の観光交流拠点となる「道の駅」が相互に情報発信を行い、イベントの実施や「道の駅」共通の取組を連携し、地域の魅力を高めるとともに、旅行者の広範囲な周遊を促進。

【トイレの洋式化】

・直轄一体型「道の駅」（16駅）は、令和4年度中に整備完了を目指す。その他の駅は、令和3年度に自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、整備を促進。（和式便器残存：61駅（2021.8現在））

【フリーWi-Fiの設置】

・令和3年度に自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、Wi-Fi環境整備を促進。（整備済83駅（2021.8現在））

【キャッシュレス決済環境の整備】

・令和3年度に自治体・指定管理者を対象とし、パートナー事業者、国の三位一体で説明会を実施し、整備を促進。（クレジット対応：54駅、電子決済対応：57駅（2021.8現在））

【免税対応・免税店の拡大】

・四国地区「道の駅」連絡会等の機会に助成制度の認知を深める周知活動を実施。（免税店認定：4駅（2021.8現在））

【多言語対応】

・直轄一体型の「道の駅」（17駅）は、令和3年度までに8駅が認定。その他の駅は、令和3年度に自治体・指定管理者を対象とした各省庁の「道の駅」に関する説明会を実施し、認定取得の促進。（JNTO外国人観光案内所認定：18駅（2021.8現在））

【道の駅での相互連携】

・スタンプラリー、共通ポイントカード、地域共通の食材による新商品開発、各駅長のお薦めを記載したミニコミ誌発刊等を各駅で連携推進。令和3年度は「四国八十八景」とコラボした「電子スタンプラリー」を実施。（令和3年11月～令和4年1月）

取組状況・予定

・今後の時代変化や利用者ニーズの多様化の中、快適な「道の駅」を目指すために、定期的な点検やアンケート等を実施。
・アンケート結果を踏まえ、改善を図る。（H29にもアンケートを実施。アンケート結果を踏まえ対応済み）
・道の駅が直面する課題やニーズとそれを解決する可能性のあるシーズをマッチングする機会を設け利用促進を図る。

●「道の駅」施設管理における見える化

取組概要

・施設設置者と施設運営者に施設の現状に関するアンケート調査を実施し、施設毎に総合評価（5段階評価）、評価した具体内容及び誇れる点・劣っている点を回答してもらい、その結果を整理することで「施設管理における見える化」を実施。
・アンケート調査による現状評価について、フォローアップとして自治体・指定管理者との意見交換を行い、可能な対策を実施し、効果を検証。
・さらに、「道の駅」のニーズの把握として欠かすことのできない女性目線の点検と評価を行い、利用者の誰もが快適で楽しい施設を目指す。



女性目線での点検状況